

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

11

2023.NOV
VOL.158

Top Interview

医療法人真鶴会 小倉第一病院 理事長・院長 中村 秀敏 氏

熊本国際空港 株式会社 代表取締役社長 山川 秀明 氏

株式会社 吉塚うなぎ屋 会長 徳安 憲一 氏 ・ 代表取締役 徳安 さやか 氏

福岡銀行

熊本銀行

十八親和銀行





想いをひとつに、未来へつづけ。

福岡の皆さま一人ひとりに
よりいっそう寄り添うために。
2023年10月1日
ふくおかフィナンシャルグループと
福岡中央銀行は経営統合しました。
いちばん身近で、いちばん頼れて
いちばん先を行く存在であり続ける。
そんな変わらない想いを真ん中に、
グループひとつになって全員で
地域の豊かな毎日をともに創っていきたい。
お客さまのために、このまちのために
さあ、想いをひとつに、未来へ。



2023年10月1日福岡中央銀行はふくおかフィナンシャルグループの一員になりました。

2023年11月1日(水)から
FFGビズスタイル※を
導入します

※スーツ・ユニフォームに限らない、FFG従業員の業務にふさわしい身だしなみ全体のこと

FFGでは、価値観の多様化が進む時代において、
「お客さま起点で考え行動する力」の醸成を目指しています。

「身だしなみ」におきましても、従業員一人ひとりの
「自律性」や「働きやすさ」の向上を期待し、
全従業員を対象に本取組を実施いたします。

今後も、お客さま起点で考える服装・身だしなみに
努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。



あなたのいちばんに。

FFG ぶくおかフィナンシャルグループ

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

昔の光 いまいずこ…



▲岡城跡



▲上.岡城の滝廉太郎像／下.滝廉太郎トンネル



▲竹田市歴史文化館・由学館

大分県の南西部に位置する竹田は、四方を久住山、阿蘇山、祖母山に囲まれ、往時は奥豊後の政治経済の中心地だった。江戸時代、街は碁盤の目のように区画されたが、西南の役や第二次世界大戦の戦火によって美しい家並みは消えてゆき、今ではかろうじて「歴史の道」に、かつての栄華の名残を残している。

難攻不落の名城と言われた岡城は、脚下に深い谷を持つ溶岩台地の上に築かれた。少年時代、父の転勤で竹田に移り住んだ滝廉太郎は、のちにその時の心象を歌曲「荒城の月」に綴った。静かに時を重ねて醸し出される竹田の哀愁と、城郭を失った岡城の寂しさが物悲しいメロディと見事に重なり合う。今宵の名月も昔と変わらぬ光で城下を照らしている。

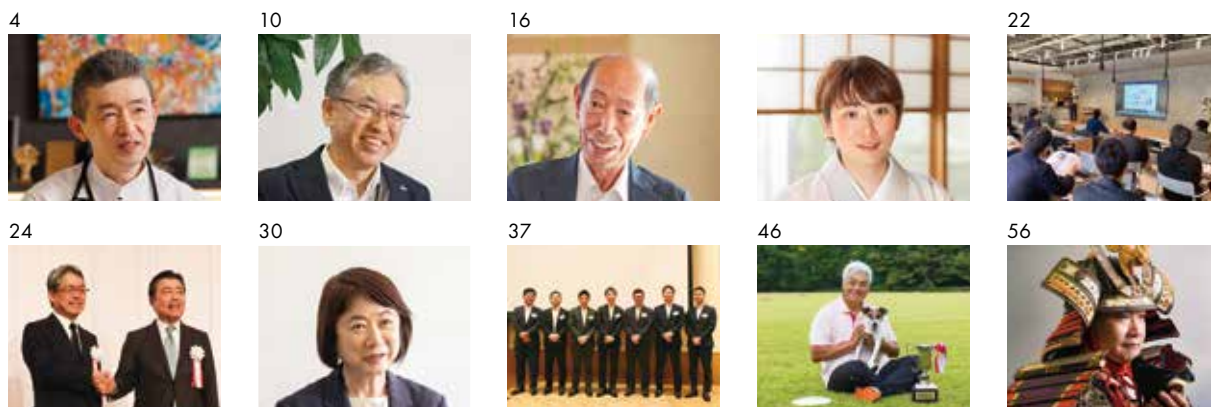
(文・阿井川 圭)

●岡城跡

住所：
大分県竹田市
竹田2889



CONTENTS



2	懐かしい情景を探して 昔の光 いまいずこ…	30	地域と共生するFFG 長崎県美術館 館長 小坂 智子 氏
Top Interview			
4	福岡銀行 医療法人真鶴会 小倉第一病院 理事長・院長 中村 秀敏 氏	38	シンガポール駐在員報告 インドネシアの再生可能エネルギー産業にかかる ビジネスチャンスについて
10	熊本銀行 熊本国際空港 株式会社 代表取締役社長 山川 秀明 氏	42	地銀9行連携レポート 静岡銀行 進む高等学校と企業の連携
16	十八親和銀行 株式会社 吉塚うなぎ屋 会長 代表取締役 徳安 憲一 氏 ・ 徳安 さやか 氏	46	九州の星 日本フリスビードッグ協会「ジャパンファイナル2023」 小型犬の部 チャンピオン 川口 輝 氏 & ジェイク
22	地域とつながるFFG連携プロジェクト SNS・ECサイトを活用した販路拡大支援の実施	48	釣り道 佐賀平野、あの夏の足元の巨大怪魚・雷魚編
26	GOLF TALK プロゴルファー 時松 隆光 氏 × コーチ 篠塚 武久 氏	49	長崎だより 地域まるごとホテル 『アルベルゴ・ディフーズ』の取組み
		56	二刀流銀行員 NEW! お城巡りで日本2周しました! 福岡銀行 添田支店 中野 実 支店長



バックナンバー
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



今月の表紙 長崎県美術館(長崎市)

表紙の写真は、「長崎県美術館」の屋上庭園です。美術館の中からも外からも誰でも自由にアクセスできます。

長崎県美術館は2005年4月に開館し、「長崎水辺の森公園」に隣接しています。当館が提案する未来の美術館のかたちは、「呼吸する美術館」。生き物が呼吸をするように、美術館の外にあるさまざまな情報や刺激を吸い込み、それを新しい形の刺激として再び外に放出しながら周囲の人や環境とともに成長を続けてゆく。そうした生きた美術館を目指しています。



福岡銀行

患者にも職員にとっても

「ハッピー」な新病院が完成。

地域に貢献する病院に。

医療法人真鶴会

小倉第一病院

理事長・院長

中村秀敏氏

取引店／福岡銀行北九州営業部

■法人概要

創業:1972年／所在地:北九州市小倉北区／従業員:194名(パート含む)／診療科目:腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、リウマチ科、形成外科、皮膚科／関連施設・事業所:サービス付き高齢者向け住宅「はびりば」

ホームページはこちらどうぞ！





小倉
Kokure

2021年11月に開院した新病院(左から中村理事長、五島頭取)

九州初の夜間人工透析ができる 透析専門診療所として開業

当院は、1972年に父・中村定敏さだとしが夜間に人工透析が可能な透析専門有床診療所「北九州クリニック（19床）」を開設したのが始まりです。それまで父は、地域の基幹病院で黎明期の透析医療の立ち上げに関わっていましたが、当時の透析は1回に約8時間もかかり、患者さんの生活そのものが成り立たない状況でした。そこで、「働いている人が夜間に透析を受けられるようにしたい」という思いから、「透析患者の完全社会復帰」という設立理念を掲げてこのクリニックを立ち上げました。

1985年に「小倉第一病院」に改組し、病床数を80床に増床しました。競合も少なかっただけに、透析患者さんの登録数は順調に伸び続け、最大時350人ほどになっていました。しかし、徐々に地域の他の医療機関でも透析に力を入れ始めたこともあり、2017年には270人にまで減ってしまったのです。

そこで2018年から、私自身が3つの大きな病院の外来で月に4回、非常勤の腎臓内科医として勤務し、透析が必要な場合には、当院を紹介するようにしています。実際に患者数もV字回復し、多忙な中でも今も続けています。

2021年11月、新病院スタート！ 駐車場から直結、広い透析室が実現

その中で着手したのが、新病院計画です。旧病院は、増改築を繰り返して、使い勝手も悪く、患者さんにも職員にも不便を掛けていました。新病院を建設することは、患者さんの増加のみならず、職員にとっても働きやすい環境になり、職員確保にもつながると考えていました。

新病院の移転先を探していたところ、東芝の北九州工場跡地であった現在の場所の情報提供をいただきました。売買契約までに5年ほどかかりましたが、福岡銀行をはじめとした関係機関のご尽力により無事に土地を取得することができました。

新病院の設計に関して、私は三つの要望を建築事務所に伝えました。一つ目は、駐車場と直結する大型スーパーマーケットをヒントに、「雨に濡れずに透析室へスムーズな動線が確保できる駐車場にすること」。二つ目は、透析の方が週3日、年間すると156日も通院されるわけですから、「第2の住まい」と言えるような病院らしくない内装にすること。そして三つ目は、「職員が交流できるスペースをつくること」でした。

2021年11月に開院した新病院は、立体駐車場から渡り廊下で2階の透析フロアに直接



5



3 1



6



4 2





中村理事長

職員が心地よいスペースを確保 働きやすい環境づくり

入れるようになっていきます。入院許可病床数は80床のままで、外来用の透析ベッドは1-10床から1-25床に増床。外来透析室は幅約75m、チエアタイプの透析ベッドは半個室として一段下がったところに設け、大きな窓から患者さんが外の景色を眺められる造りになっています。現在の透析患者数は330人までに回復、さらなる患者さんの獲得を目指していきます。

職員が働きやすい環境をつくることも、新病院の重要なテーマです。旧病院にも設けていた「メディカル・インフォメーション・プラザ（通称MIP）」という職員交流のためのスペースを、

新病院では1階のバックヤードエリアに広く設けました。ここには医局、幹部スペース、広報室、会議室、そして職員食堂に隣接するカフェスペースがあり、医局秘書を兼ねたMIPコンシェルジュの受付カウンターが入り口すぐ横にあります。幹部スペースはフリーアドレスで仕事ができるデスクとしているため、お互いが情報交換しやすく、職員からの相談も気軽にできる環境になっています。

院内には職員専用のフィットネスジムを設置し、職員の健康を積極的にサポートしています。仕事終わりにすぐ利用できる利便性の高さから利用者も多く、職員同士の交流の場としても機能しています。

また、周囲に飲食店が少ないことから、職員の駐車場スペースに週3回ほどキッチンカーが出店。カフェスペースの掲示板にメニューを貼り、職員たちが事前予約をできるようにしています。新病院ができた2021年11月はコロナ禍真っ最中で、キッチンカーの業者の方も売上げが落ち込み困っていたところでした。近隣の住民の方にも開放していますので、病院を知ってもらえる機会にもなっています。

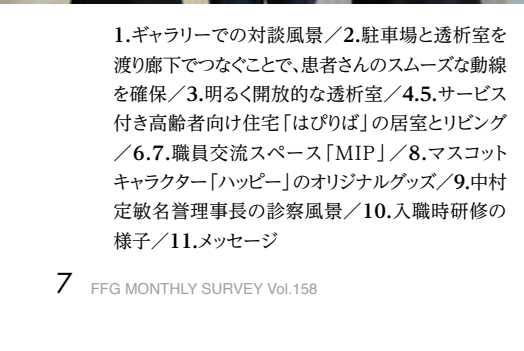
病院としては非常に画期的なこれらの福利厚生の実施は、職員の定着や獲得につながっていると実感しています。実際に2022年の



11 9



7



8

1. ギャラリーでの対談風景
2. 駐車場と透析室を渡り廊下でつなぐことで、患者さんのスムーズな動線を確保
3. 明るく開放的な透析室
4. 5. サービス付き高齢者向け住宅「はぴりば」の居室とリビング
6. 7. 職員交流スペース「MIP」
8. マスコットキャラクター「ハッピー」のオリジナルグッズ
9. 中村定敏名誉理事長の診察風景
10. 入職時研修の様子
11. メッセージ



新病院正面玄関前。前列左2人目から中村理事長、五島頭取、上村北九州営業部長(福岡銀行)

採用職員20名は1人も離職者がいません。有給休暇取得率も職員全体で100%となっています。2024年4月から「医師の働き方改革」が施行されますが、当院の医師はほぼ定時で業務を終えています。30代、4代の中堅医師も常勤医として勤務してくれており、様々な改革が職員確保につながってきていると思います。

教育体制を充実 愛着を持って働ける病院に

職員の確保のためには、教育体制の充実も重要だと考えています。病院では、一般企業のような新人の研修期間を設ける余裕はなく、新人は先輩について仕事を覚えていくことが一般的です。その中で、当院では約10日間の新人研修期間を設けて、現場に入る前に基礎的な知識がしっかりと学べる独自のプログラムの下で丁寧な指導を行っています。

教育体制は、赴任時からの私の取り組みベキ課題とっており、赴任した2004年には早速、医療安全管理、職員マナー向上のためのeラーニングの本格運用を開始しました。さらには、コンサルタントを導入して採用プロジェクトチームを発足させ、学生さんを対象とした病院見学会の開催や採用専用のSNSを開設

して情報発信を行うなど、職員獲得のための様々な取り組みを行っています。また全国的な看護師、介護職員不足から、インドネシア人のスタッフを採用しています。非常に真面目で優秀、さらなる採用に向けて動いています。

また、この規模の病院では珍しく広報室を設けていることも強みになっています。セラピー犬として実際に活躍していたゴールデントリバーをモチーフに、職員がイラストを手掛けた当院のオリジナルキャラクター「ハッピー」の多種多様なオリジナルグッズも展開しています。患者さんにも愛着を持ってもらえますし、宣伝効果も高いものになっています。地元メディアが北九州市制60周年を記念して開催した「推しキャラ総選挙」では、おかげさまで1位を獲得。その他、広報誌制作や動画配信など、広報室は病院の周知に欠かせない存在になっています。

一般診療や市民公開講座など 地域に貢献できる病院へ

新病院では地域への貢献として、透析以外にも患者さんを受け入れられるよう一般診療の強化も進めています。2015年には形成外科、2021年には皮膚科に医師が常勤していますが、どちらも一般診療を受け入れており、

若い患者さんの外来受診が増えています。さらには、広報室が主導して市民公開講座もスタート。この地域の皆さんへ認知してもらえ、病院になっていけたらと思っています。

新病院の移転地には当院のほか、特別支援学校や障がい者就労支援施設、保育園の開設が予定されています。将来的には障がい者就労支援施設からの雇用も行い、障がい者福祉分野でも地域に貢献できればと思います。

現在、新病院の5階は、サービス付き高齢者向け住宅になっています。ある程度自立された方を対象にしていますが、今後は、隣接する場所に住宅型有料老人ホームの建設も予定しています。実はこの地域にはこのような施設が少なく、施設からの通院となる高齢の患者さんの場合、別の地域に移ってしまうため、この病院を離れざるを得ないのです。そこで、隣接の土地に住宅型有料老人ホームを建設し、透析患者さんの通院困難を解消するとともにトータルで医療を提供できる環境を整えていきたいと思っています。

おかげさまで、当院は2022年12月で50周年を迎えました。待っていれば患者さんが来るという時代から、病院も経営的な視点が必要な時代になってきています。時代のニーズ、地域のニーズを的確に捉えながら、生き残るための戦略を今後もしっかりと考えていきたいと思っています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久



九州初となる夜間人工透析が可能な透析専門診療所としてスタートした当院は地域にはなくてはならない存在で、現在330人を超える透析患者さまが通院されています。

2021年に建設された新病院は、患者さまの「第2の住まい」にしたいという中村秀敏理事長の強い想いが結実したものです。自然光を多く取り入れた各施設は病院であることを忘れてしまいます。職員の皆さんのスペースも充実していて、「患者さまのために職員が働きやすい環境を」という理事長の声に大きく頷きました。地域医療を支える「ハッピーな」存在として、更なる飛躍を遂げられるものと確信しています。



 熊本銀行

新旅客ターミナルビルの誕生で活気。
地域との共生と熊本の経済発展に
大きく貢献するゲートウェイへ。

くまもとのこくさいくわうこう
熊本国際空港株式会社

代表取締役社長

やまかわ ひであき
山川 秀明 氏

取引店／熊本銀行本店営業部

■会社概要

設立:2019年／所在地:熊本県上益城郡益城町
／資本金:64億4,000万円／従業員:112名
(2023年7月現在)／事業内容:阿蘇くもと空港
の運営、航空機運航に伴う障害防止・損失補償、
空港施設建設・管理など

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





空港前にて(左から山川社長、野村頭取)

コロナ禍が立ちほだかるなか 民間委託による再出発

阿蘇くまもと空港の航空管制を除く運営業務を担う熊本国際空港株式会社設立は2019年4月。熊本地震によって被災した空港の旅客ターミナルビル建て替えを前提に、運営が民間委託されることとなり、三井不動産を代表とする企業グループが運営権者となって当社が設立されたのが始まりです。

空港全体の運営を実際に開始したのは2020年4月からですが、折しも世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス禍が始まった頃で、当社の船出はとても厳しいものでした。民間委託前の2018年度旅客数が過去最多の約346万人であったのに対し、国際線の運休を余儀なくされた2020年度は約84万人にまで落ち込むという状況でした。

そのような状況下、リモートによる活動を取り入れながら路線誘致などにも注力しつつ、旧国内線ターミナルビルの解体に着手。2021年1月に着工した新旅客ターミナルビルは約2年の工事期間を経て、本年3月に開業しました。そして、5月には新型コロナウイルスが感染症法上、「5類」の位置付けとなったことも

あり、旅客数は国内線、国際線ともに回復傾向にある状況です。コロナ禍前の2019年と比較しても、5月は96.3%、6月は91.5%、7月は85.3%、8月は88.3%といった具合に、旅客数が戻ってきています。

また、今年9月には台北への定期便就航が実現し、台湾の半導体製造大手であるTSMCの熊本進出と相まって、空港利用者数のさらなる伸びが大いに期待されるところです。

豊富な知見と経験、多様な価値観を 強みとするダイバーシティ集団

コロナ禍に阻まれるなか、当社がここに到るまでのさまざまな困難を乗り越えてこられた大きな理由は、組織そのものが幅広い知識と経験を有する人材から成る集団であったことです。

三井不動産を筆頭に、九州電力、九州産交ホールディングスなどの11社と熊本県を株主とする当社には、各企業の知見や専門性を持ち寄って事業を推進していける企業風土があります。社員は、株主会社から出向している者、以前より阿蘇くまもと空港運営に携わってきた者、他業界で経験を積んで転身した者、専門知識をもっている国のアドバイザーなどから構成



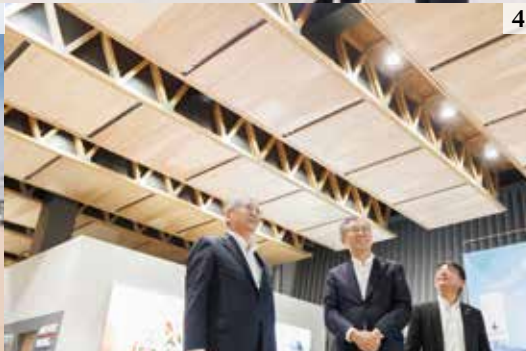
5



3 1



6



4 2





山川社長

されており、いわば、豊富な知見と経験、多様な価値観を強みとするダイバーシティ集団といえます。

空港運営において、これまでになかった民間ならではの発想力、実行力、連携力を発揮した結果、国内線と国際線共用の搭乗待合エリア、羽田空港などの国内大規模空港に比肩するほど充実した免税店のブランドラインナップ、海外ネットワークを活かしたエアポートセールスなどが実現しています。

変わったところでは、運用時間外を利用しての、滑走路をコースに用いたマラソンイベントも実施。職員や関係機関のみならず、地域住民や地元の大学生も巻き込んで、空港の存在感と魅力を感じていただくきっかけになっています。

航空会社に選ばれる空港、地域にひらかれた場の両立を目指す

コロナの5類への移行、政府水際対策の緩和から撤廃、そして新旅客ターミナルビルの開業というタイミングを捉えて、当社ではとくに以下の三点に注力しています。

まずは、路線の誘致。つまり、当空港を就航先として選ぶ航空会社を増やす活動です。

国際線に関しては、すでにソウル線が毎日運航しています。また、9月から運航を開始した台北線は、スターラックス航空とチャイナエアラインのダブルトラック運航によって利便性は高まりつつあります。運休路線の復便や、これまで直行便のなかった中国大陸、東南アジア方面との新規路線開拓に向けて、誘致活動を加速させていきたいと考えています。

国内線についても、札幌や仙台などと路線をつなぐ活動に注力し、現在最も北の就航地である成田空港以北の都市との新規就航を目指していきます。

また、阿蘇くまもと空港が「九州の中心に位置する」という地理的優位性を訴求しつつ、熊本が誇る自然、歴史、食といったさまざまなコンテンツの発信にも力を入れていきたいところ



- 1.対談風景／2.事務所には阿蘇くまもと空港で運航している飛行機の模型が展示されている／3.空港内を見学／4.3階の天板は小国杉が使用されている／5.展望デッキに向かう通路からは搭乗待合エリアを眺めることができる／6.滑走路を一望できる展望デッキで記念撮影／7.15分単位で利用できるワークスペース／8.お土産購入エリア(搭乗待合エリア内)／9.搭乗待合エリアの休憩スペース／10.広々としたスペースでくつろげるラウンジ／11.企業メッセージ



事務所前にて。前列左2人目から山川社長、野村頭取、田口本店営業部長(熊本銀行)

です。これについては、地域の皆さまのご協力も仰ぎ、一体となって路線誘致につなげていけたらと思います。

二つめは、「シンプルで利用しやすい、国内線・国際線一体型のターミナルビル」の実現。阿蘇くまもと空港には、早めに着いて搭乗待合エリアに入ってしまうば、保安検査の時間を心配しながら並ぶこともなく、ゆったりと食事や買い物を楽しめるという利点があります。そして、そのメリットは徐々にお客さまに浸透してきており、早めに空港を訪れる方が増えています。テナントと手を取り合うなかで空港の魅力をさらに高め、お客さまの利便性向上と定時性の確保に努めていきます。

三つめは、商業ゾーンの充実化。2024年秋をめどに、地域にひらかれた広場と商業ゾーンを同時にオープンさせる予定でしたが、「送迎者も利用できる店舗を早くオープンさせてほしい」とのご要望を多くいただき、商業ゾーンの店舗は前倒しでの順次オープンを視野に計画を進めています。

また、もともとビジネス需要が高い空港でしたので、新旅客ターミナルビルには、テレワークスペースを設置。こちらも設備の拡充を推進していきたいと考えています。

安全・安心を第一として、 訪れる人も働く人も 心から笑顔になれる場に

阿蘇くまもと空港は、国内外の人や物資を送り出し、受け入れている、社会経済にとって欠かせない役割を果たしているインフラです。そして、DXが進展した結果、かえってリアルなヒトとモノの動きは、より価値のあるものになっている、と私は感じています。また、空港がネットワークを伸展させて成長することは、地域のみならず、国の経済発展にもつながるので、インフラを安全に運営する私たちの役割はとても重要であり、それだけの責任を問われるものだと認識しています。

ですから、搭乗する方や地域の方々、空港で働く人のいずれにとっても、「安全・安心」を提供する施設であることが第一だと考えます。そのうえで、当社がビジョンとして掲げる「訪れる人も、働く人も、笑顔になれる、世界でいちばん居心地のいい空港」を目指します。

そのような場の実現のために、私自身が心がけているのは、「明るく楽しく」をモットーに、働く人たちが気持ちよく働けて、人としても成長していける環境を整えていくこと。社員一人

ひとりの思いに耳を傾けながら、皆がお互いを理解し合い支え合えるような取り組みに力を入れていくところです。その結果として、社内が一体となり、会社の成長、空港の成長を継続的に促していけたらと思います。

大勢の夢を育み、未来をひらく

関わるすべての人に笑顔をもたらすために発展する阿蘇くまもと空港は、災害時には広域防災拠点となる重要な役割も担っています。よりいっそう大勢の人々に「使いやすく良い空港」だと認識していただくために、まずは熊本本の経済発展に寄与できる、選ばれる空港を目指していきます。

路線の拡充、定時性と利便性の追求による空港の魅力開拓の先には、「飛行機には乗らないけど遊びに来た」「次はここから飛行機に乗ってみたい、旅行に出かけたい」という大勢の夢があるはずです。

また、熊本県が目指している空港アクセス鉄道の開通が、早ければ2034年度末に予定されています。空港の利便性が高まって、産業の集積が図られることで、空港を中核とした「街」の創出を目指し運営を続けてまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳

2020年より阿蘇くまもと空港の運営に携わっておられる熊本国際空港株式会社は、安全と安心の提供を第一として、地震に強く、非常時にも電気・水道・通信などのライフラインを確保できる造りの新たな旅客ターミナルビルを完成させ、今年3月に供用を開始されました。

また、利用者の利便性に配慮し、国内線と国際線のターミナル機能を一体化し、待ち時間を短縮するスマートレーンなどの最新機器も導入されています。空港周辺の賑わい創出、交流人口の拡大を通じて、ますます熊本の発展に貢献されるのを期待しています。





十八親和銀行

鰻一筋に150年。

博多で生まれ、育った信頼と味を
これからも守り続けていく。

株式会社 吉塚うなぎ屋

会長

徳安 憲一氏

代表取締役

徳安 さやか氏

取引店／十八親和銀行 福岡営業部グループ

■会社概要

設立:1873年／所在地:福岡市博多区／資本金:
1,000万円／従業員:65名(2023年6月現在)／
事業内容:鰻料理専門店

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





店舗前(左から徳安社長、徳安会長、山川頭取、徳安女将)

繁盛している裏にあった 歴代当主が歩んだ苦難の歴史

創業は1873年、おかげさまで、2023年でちょうど150年を迎えます。創業者である徳安新助は、代々、今の福岡市博多区吉塚で鍛冶屋を営んでいました。その当時、吉塚には鍛冶屋が多く、現在、地元の千代森神社（福岡市博多区千代）で毎年11月8日に輔祭（ふけいさい）が開催されているのも、その名残と言われています。

その鍛冶屋が、なぜ鰻屋（うなぎや）になったのか逸話が残っています。新助がある時、行き倒れの人を助けたところ、その人が鰻職人だったそうで、そのお礼にと鰻の調理法を伝授してくれました。吉塚うなぎ屋独自の「こなし」はこの時に学んだもので、関東風でも関西風でもないことから、この鰻職人がどこから来た人だったのか、いまだに謎に包まれています。ちょうど明治になり、武家制度が廃止され、廃刀令とともに鍛冶の仕事が廃れてきたこともあり、心機一転、鍛冶屋から鰻料理専門店「吉塚うなぎ屋」へと生まれ変わったのです。

明治時代でも鰻は、非常に高級な食材でした。ただ、今と違うのは来店するとお客さまはまずゆっくりと湯につかり、その間に那珂川に設置していた筏（いかだ）に鰻を取りに行き、お客さまはお酒を飲みながら、鰻が焼き上がるのを待っているという風情のあるものでした。その筏があったことから、大正時代には今の福岡市博多区中洲に支店を出しています。

その中洲支店は、1945年6月の福岡大空襲で焼失したのですが、戦後を迎えると吉塚本店を整理して、中洲5丁目で再開しました。その頃店を仕切っていた3代目は「鰻焼きの名人」と言われるほどの腕を持っており、お店はいつも大繁盛していました。また、東京にも出店しているほどでした。ところが、名人と誉れが高かった3代目は財布の紐が緩く、店は繁盛しているのに資金繰りに困るという状況に陥っていったのです。

その後4代目に敏寄せが来て、借金返済に奔走しました。堅実な経営や金融機関の手助けなどもあり、徐々に経営改善をしていったのです。



5



3



1



6



4



2



徳安憲一会長

若くして継いだ5代目 念願であった新店舗を完成

しかし、その心労もあつたのか4代目が心筋梗塞で倒れ、5代目に当たる現会長の徳安憲一は、35歳という若さで店を継ぐことになったのです。5代目は、4代目が入院している病院に毎日報告にいきながら、店の味を守り続けました。しかし、4代目が亡くなると、お客さまの中には「先代から味が変わった」と言われる方もいらっしゃいました。実際には亡くなる前から5代目が手がけていたので、味は同じはず。そこで、5代目はあえて新しいことはせず、伝統を守り続けようと決意したのです。

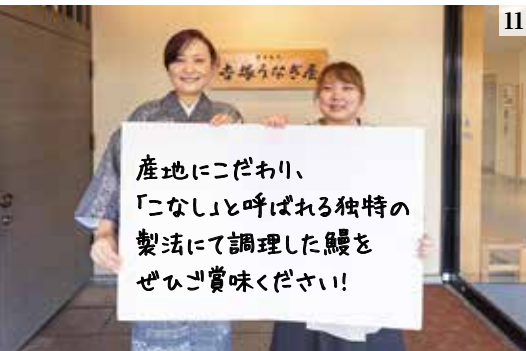
後に経営も安定し、先代からの念願であつた借地だつた店の土地を買い取り、2009年

に、現在の店舗を新築しました。以前の店舗は、階段が急でお客さまに不便をお掛けしていたのですが、新しい4階建ての店舗ではエレベーターを設置し、車いすのお客さまにも安心してご来店いただいています。店内は2階がカウンターとテーブル席、3階が座敷や掘りごたつ席となっており、博多川を望む建物の入り口は、木々が茂り、博多塀が情緒を醸し出しています。博多に生まれて、博多で育ってきた当店らしい構えが出来上がったのではないかと思います。

焼きながら、もみ、たたく

「こなし」と呼ばれる独特の製法

当店の鰻は「こなし」と呼ばれる調理法が特徴です。腹割り・串打ちなどは関西風と言えますが、焼きながら、もみ・たたき「こなし」を行うことで、鰻の味を最大限に引き出す調理法は、全国的にも珍しいのではないかと思います。この「こなし」によって、鰻からにじみ出た



11 9



7

1.対談風景/2.産地モニター案内/3.4.5.厨房案内/6.厳選された国産鰻/7.当社自慢の鰻重/8.試食風景/9.店舗外観/10.加工場風景/11.企業メッセージ



10



8



前列左4人目から徳安さやか社長、徳安憲一会長、山川頭取、森田支店長(十八親和銀行)

脂で表面がムラなく焼き上がり、鰻そのものがふつくと、皮がパリッと仕上がるのです。
蒲焼きの決め手となる「秘伝のタレ」は、継ぎ足しながら受け継がれています。ほんのりと甘めの味わいで、ふつくと香ばしくあがった鰻のうま味をさらに引き立ててくれます。

さらに、当店の鰻は国産のみ取り扱うということが特徴となっています。外国産のものはどこでどのように育ったのか分からず、自分たちが見たこともない場所で育った鰻をお客さまにお出しするわけにはいきません。鰻の産地で有名な静岡、宮崎、鹿児島に向いて、生産者と直接顔を合わせ、実際の飼育の様子を見て信頼できるところのものを厳選して仕入れています。その生産者の方は、当店1階モニターでもご紹介していますので、ぜひご覧いただければと思います。

**常連の方への感謝を忘れずに
より愛され、信頼される店に**

2022年2月に7代目として、代表取締役
に就任しました。以前は海外からのお客さまや



徳安さやか社長

観光客が1日中途切れることなく来店され、従業員が休む暇がないほどだったところに、新型コロナウイルスの感染拡大で一気にお客さまが減ってしまいました。そんな中で、私たちを支えてくださったのが、地元常連のお客さまです。コロナが落ち着いて、またにぎわいは戻りつつありますが、地元常連のお客さまへの感謝を忘れることがあってはならないと、改めて感じました。

2023年は創業150周年にあたり、何か記念になるようなことができればと考えています。また、今後は効率化とお客さまをお待たせすることがないよう予約システムなども導入しようと計画していますが、対面で、お客

さまの顔を見て接することの大切さも決して忘れてはならないと思っています。

また、毎年「丑うしの日」を発案したと言われている平賀源内ひらがげんないの命日にちなみ、12月18日を「吉塚うなぎ屋こどもの日」と定め、お子さま連れのお客さまに限り店内メニューを半額にするサービスを行っています。これは、普段は鰻店になじみのないお客さまにご来店いただくと同時に、将来、この店のファンになってくださるであろうお子さまに、ぜひ当店の鰻を味わっていただきたいとの思いで続けています。鰻が苦手というお子さまも、当店に来ると「美味しい」と食べてくださることが多く、嬉しく思います。

また、鰻職人の確保も、店を守り続けていくには欠かせません。若い世代は鰻になじみがないため、調理学校に向き、実際に鰻をさばく様子を見てもらい、興味を持っていただくような取り組みも考えています。

150年が経ち、これから新しいことを始めるよりも、これまでやってきたことをより深く掘り下げ、より親しんでいただけるお店にしていきたいと思っています。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦



当社は、「こなし」と呼ばれる独自の調理法や、永年受け継がれてきた「秘伝のタレ」により、150年に亘り国内外多くのお客様に愛され続けてこられました。

また、今までの伝統に加え、研究機関と共同して生簀の水質改善に取り組まれ、お米のブレンドも研究を重ねられるなど、素材に拘り、たゆまぬ努力を継続されていらっしゃると思います。これまで培われた伝統の味を守り続け、今後ますます発展されることを期待しております。

地域とつながる FFG連携プロジェクト

長崎市



私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、長崎市や市内事業者と連携したデジタルサポートの取組みをご紹介します。

SNS・ECサイトを活用した販路拡大支援の実施

長崎市は、昨今の原油価格・物価高騰等によるコスト増加に直面する市内の中小企業を支援することを目的として、新たな顧客獲得に向けたSNSマーケティングやECサイトによる販売促進を支援しています。

十八親和銀行・iBankマーケティングは、長崎市の「SNS・ECサイト活用伴走型支援業務」を受託し、市内事業者を対象にSNS・ECサイト運用に係るセミナーを開催するなど、市が選定した市内事業者20社に対して伴走型支援（デジタルサポート）を行っています。

2023年3月に開催した「長崎市SNS等活用支援セミナー説明会」においては、市内事業者35社にご参加いただき、情報発信の魅力、SNSによる集客やECサイトとの連携、広告宣伝ツールの活用等様々なノウハウをお伝えしました。

また、市の採択を受けられた事業者20社に対して、伴走型支援も実施しました。サポート内容として、まずはSNSとECサイトの現状をヒアリングし、フォロワーを増やすための施策検証、実施事業の提案を約半年間（計5回）にわたって行っています。

更には、伴走型支援を受けられた事業者のうち5社に対して、本業務で準備されているSNSマーケティングやECサイトによる販売促進に係る経費に対する補助金（最大150万円、補助率

SNS・ECサイト活用伴走型支援業務

長崎企業向けのセミナーの実施

- 長崎市内の中小企業**35社**に対して、iBankマーケティング講師がSNS活用に関するセミナーを実施
- SNSマーケティングを活用したECサイトでの売上伸長に向けたポイントを実践的に講義

伴走支援① | 個別面談による課題整理・計画策定サポート

- 市が選定した**20社**に対して、約半年間の間に5回の面談を実施、事業者毎の課題を整理のうえ具体的な実施事業を提案



伴走支援を実施した企業のうち、FFGサポートを希望いただいた**5社**に対して販促活動サポートも実施

伴走支援② | 補助金を活用した販促活動サポート

- 事業終了後の自走化を目的として、写真レクチャーやSNSフォロワー獲得に向けたキャンペーンの企画提案を実施





本事業に関心がある事業者を対象にSNSセミナーを開催



ECサイト用写真撮影実施



SNS発信時の写真撮影方法についてレクチャー

2/3)を活用した販促活動についてもサポートしています。情報発信からECサイトの購入促進まで一連して改善が図れ、支援期間終了後の自走化を目的に、写真撮影レクチャーおよびフォロー獲得に向けた効果的なキャンペーンの企画提案、お客様のサイト内の遷移やよく見られているページの分析を行う等、効率的にオンラインで商品が購入されるような仕掛けづくりをサポートしています。

今後も、FFGではグループのデジタルサポートのノウハウを最大限活用しながら、お客様の本業支援や地域の課題解決および活性化に資する取り組みを進めてまいります。



キャンペーン事例



十八親和銀行 地域振興部
兼 iBankマーケティング 山口
【お問い合わせ】(095) 827-8609

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

Topics of the month

FFG×福岡中央銀行 統合記念式典開催

2023年10月1日(日)、ソラリア西鉄ホテルで統合記念式典を開催しました。



壇上で握手を交わす(左から)五島社長と荒木頭取



左から、永吉頭取(みんなの銀行)、野村頭取(熊本銀行)、五島社長(FFG)、荒木頭取(福岡中央銀行)、山川頭取(十八親和銀行)、ユーモ

10月1日(日)FFGは、これまで中小企業専門金融機関として地域の発展に貢献してきた福岡中央銀行と経営統合し、統合記念式典を開催しました。

式典の冒頭、挨拶した五島社長は、福岡は中小企業の数が全国上位で開業率も高く、魅力的な市場と挙げたうえで、「今回の経営統合で、それぞれの経営資源や強みを活かしながら、より幅広いお客さまの課題解決や成長のサポートをおこない、将来にわたって『地域金融の安定』と『豊かな地域社会の実現』に貢献していく」と述べました。

足元では物価高、円安、人手不足といった環境下、コロナ補助金や社会保険料の猶予期間が終了し、ゼロゼロ融資の本格的な返済も始まっています。地域企業の経営安定に向けて、実情に応じた迅速な資金繰り支援やFFGのグループ総合力をフル活用した本業支援に注力していきます。

FFGは、経営統合により5行を束ねる金融グループとして新たなスタートを切りました。今後も地域経済の持続的な発展を目指して、地域とともに成長を続けてまいります。



人生100年時代に **若手社員編** 持続可能なキャリアを描こう!

現代は「VUCA」の時代と呼ばれる通り、予想できない事象が次々と起こり、今までの経験や慣習が通用しない状況が続いていきます。そのような時代だからこそ、自身のキャリアを見つめなおし、これから先の自己実現のために、今何をすべきかを前向きに考える好機でもあります。

本セミナーでは、現状を取りまく環境変化を理解し、従来のキャリアの考え方とどのように変わっているのか、また変化の激しい時代の中でどのように自身のキャリアを構築していくかを演習を通して楽しみながら身につけていただきます。

プログラム

1. 「人生100年時代」の背景と変化について
2. ライフシフト概論(人生のタイムスケールを考える)
3. WILL・CAN・MUSTで、自分のキャリアを振り返る
4. 未来地図&スモールステップで、成長していくためのキャリアを描く

開催日時・場所

2023年

11月2日(木)

13:00～17:00

福岡会場 福岡銀行本店4階
セミナールーム
福岡市中央区天神
2-13-1

2023年

11月15日(水)

13:00～17:00

熊本会場 熊本城ホール
熊本県熊本市中央区桜町
3-40

2023年

12月12日(火)

13:00～17:00

長崎会場 ホテルニュー長崎
長崎県長崎市大黒町
14-5

定員 **各50名** 対象 **・若手社員
・FFG経営者クラブ会員様限定**

受講料 **無料** 主催 **FFG経営者クラブ、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、FFGビジネスコンサルティング**

お申込み人数:全日程を通して1社2名様までの参加申込にてお願いいたします。
FFGビジネスコンサルティングのホームページにアクセスの上、『セミナー・研修会』の「募集中のセミナー」よりお申込みください。<https://www.ffgbc.com/>

お申込期限：各開催日の5営業日前まで



お申込み
お問い合わせ先

TEL.092-723-2241
FAX.092-721-9258

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 (担当:岩谷・石丸)
受付時間 9:00～17:00 (但し、銀行休業日は除く)



講師プロフィール

シモカドチカ

下門 千華 氏

●キャリア・コンシェルジュ 代表

国内外のエアライン系ホテル、外資系ホテルでフロント・コンシェルジュに従事し、数多くのVIP対応に携わる。外資カスタマーサービススペシャリスト研修で接客・接遇マナー・クレーム対応など習得。

その後、フード業界売上日本No1の企業において、九州・沖縄地区の採用人事責任者として1,000人以上の採用・面接・研修に携わる。また、社内コンプライアンスの推進、評価制度、階層別研修の導入を行い、人事制度の強化及びメンター制度実施により早期離職防止に貢献。女性活躍推進も進め、キャリアアップのための教育体制を強化する。

現在は、これまでの経験を活かし、組織人事コンサルタントとして、中小企業の働きがい向上のための組織づくりと定着支援、顧問人事、高校生から大学生のキャリア支援も活動。ライフシフト・ジャパン株式会社のライフシフト・パートナーでもある。



GOLF TALK vol.2

福岡県を代表する男子プロゴルファー時松隆光氏。そして、時松プロを唯一無二のテンフィンガーに育てた篠塚武久先生。2回目となるゴルフトークは、二人の思い出話に花が咲いた。

父親が敬慕する篠塚先生に5歳からゴルフを習う

時松プロが5歳の時、篠塚先生のとこで習うようになったきっかけを教えてください。

時松 もともと父が篠塚先生の大ファンで習わせたかったようです。

若い頃、競技

ゴルフアー

だった篠塚

先生は、



篠塚武久(しのづか・たけひさ) 1945年5月27日生まれ、78歳。福岡市で「桜美ゴルフハウス」を主宰。福岡大学の石田迪夫教授と共同で作上げた「OSゴルフ理論」で時松隆光プロをはじめとするトッププロゴルファーを多数輩出。自身も日本オープン4回出場など、トップアマとしての実績がある。



「10本で握る テンフィンガースウィング」▶
篠塚武久 著 ゴルフダイジェスト社

桜美
ゴルフハウス

住所：福岡県那珂川市後野
571(筑紫ヶ丘GC内)
電話：090-2392-5454



篠塚武久

コーチ



九州で初めてナショナルチームに選ばれた方でもあり、父にとっては雲の上の存在で、ゴルフ場で見かけしても緊張して声を掛けられなかったと聞いています。

時松プロのお父様もゴルフが上手くて、シングルプレーヤーでしたね。

時松 こないだは、九州シニアの試合で予選通って、75歳で「75」のエイジシュートだって喜んでました(笑)

時松プロはどんなお子さんでしたか？

篠塚 源蔵君が小さい頃はよく一緒にパター対決をしたものです。私が負けたらジュースをおごることになっていて、源蔵君は負けたらすごい悔しがつて何度も「もう1回しよ」って言うてくる。ところが6〜7歳になった途端に「ジュースはもういいからお金をちょうだい」って言うてきたから、「この子はプロに向いてる」って確信しました。

時松 そんなこと言ったかな(笑)

納得するまで徹底追求

時松プロの少年時代

篠塚 そうそう、源蔵君が小さい頃、「ゴルフは18ホールあるけれど、海に打ち寄せる波の数も1分間に18回、自然の数と一緒に。



ゴルフは

自然の法

則にのつとつ

たスポーツなん

だよ」って話を聞

かせたことがあつて。

そしたら源蔵君、その後

にちやんと海に行つて波の数を数え

てきたんですよ。それで、「打ち寄せる波の

数は1分間に18回じゃなかった」って言い張

るんです(笑)。おそらく、風が吹いていた

り、気象状況で打ち寄せる波の数は変わっ

てくるのですが、自分の目で見て確信

するまで徹底的にやる。それが普通の子と

違っていましたね。

時松 覚えてません(笑)

**自作の道具を使った
ユニークな指導法**

篠塚先生は地球儀が付いたクラブや玩具の刀をつけたクラブなど、自作の道具を使ったユニークな指導法をしていらっしゃいますね。


篠塚 言葉では伝わりにくいので道具を使って教えています。物で教えると目で



時松隆光(ときまつ・りゅうこう) 1993年9月7日生まれ、30歳。福岡県那珂川市出身。沖学園高等学校卒。身長168cm、75kg。ゴルフを始めた5歳から篠塚武久氏に師事。2012年プロ入り。ツアー通算3勝。本名は源蔵で愛称は「ゲンちゃん」。2020年から2年間、ジャパングolfツアーの選手会長を務めた。

Instagram		YouTube	
-----------	--	---------	--

撮影協力 **筑紫ヶ丘ゴルフクラブ**
 住所：福岡県那珂川市後野571
 電話：092-952-6011




プロゴルファー

時松隆光

覚えるから記憶します。後は努力して自分のものにすればいい。今の子どもたちはスマホとかパットと出るものばかりで遊んで、道具で遊ばないから覚ええない。源蔵君が小学5年生の時、ライジングパットの仕組みを伝える道具を作ったんです。そしたら源蔵君がパターの練習を終えた後、いつも座ってじっと見ている。何日も何日も飽きもせず、ずっと見ているんです。

時松 それは今でも覚えています！ライジングパットの道具を見ながら、パターが決まるのはどういう仕組みなのかをずっと考えていました。

篠塚 ジュニアに教えるときは「源蔵君はこれで覚えた」って言っています。説明するとき「源蔵君はこうした」っていったらみんな大人しく聞くんです(笑)

篠塚先生の独創的なアイデアはいつ浮かぶのでしょうか。

篠塚 朝、シャワーを浴びているときです。

時松 滝行だ(笑)

篠塚 忘れたらいけないので、すぐに書きとめます。

朝 シャワーはひらめきの宝庫ですね。

to be continued

Topics of the month

「くまもとの物産商談会2024」の参加者を募集します。

2024年2月27日(火)、熊本市の主催により九州内外のバイヤーを集め「くまもとの物産商談会2024」を熊本城ホール(熊本市中心区)にて開催します。

前回(2023年3月)
開催した際の
記事はこちら



熊本県経済は、TSMC(台湾積体回路製造・世界最大級の半導体メーカー)の進出を機に半導体関連企業の集積や空港周辺のインフラ整備等の設備投資が引き続き高い水準で推移すると見込まれます。また個人消費も人流の増加と観光需要の回復等から、消費額の増加が期待でき、熊本の経済が今、大きく動こうとしています。

このような景気基調のなか、昨年度に続き、熊本市主催による「くまもとの物産商談会2024」が開催されます。本商談会では、熊本連携中枢都市圏(※)の事業者を対象に地場産品の知名度向上及び商品PRの機会を創出し、販路拡大を図ることを目的としています。

なお、今回の商談会も、昨年同様リアル(対面型)商談とオンライン商談を両立させた「ハイブリッド型」で開催します。

昨年度の実績は、参加事業者75社・バイヤー33社、商談数は295件を数えました。商談会終了後に実施したアンケートではバイヤー・参加事業者共に商談会の全体的な満足度について高評価を頂きました。今年度は、さらなる充実を図るため、展示コーナーの拡充に加え、国内に幅広く販路を持つ百貨店・スーパー・中間業者・商社・セレクトショップ・外食産業など、購買意欲の高い優良バイヤーの招聘を行います。

さらに、参加される事業者の商談力・成約率向上のサポートを目的に、商談会開催前には「販路開拓の基礎知識・商談の進め方」事前対策セミナー、商談会開催後には「バイヤーとの向き合い方・商品ブランディングで価値をあげる」の商談会後対策セミナーを開催いたします。

熊本の加工食品事業者・工芸

品製造業者のみならず、バイヤーのニーズを直接聞き取り、新たなビジネスチャンスを得られる「くまもとの物産商談会2024」へ是非ご参加ください。

(※)熊本連携中枢都市圏の構成市町村：熊本市・山鹿市・菊池市・宇土市・宇城市・阿蘇市・合志市・美里町・玉東町・大津町・菊陽町・高森町・西原村・南阿蘇村・御船町・嘉島町・益城町・甲佐町・山都町



くまもとの物産商談会2023の会場の様子



くまもとの物産商談会2023の個別商談の様子

くまもとの物産商談会2024

参加者の募集

参加無料



熊本の素材を活かした食品加工品、物産品の商談会(対面型、オンライン型併用)を開催します。九州内外のバイヤーを多数招へい予定ですので、販路開拓のビッグチャンスです。この機会に是非ご参加ください!

募集数 80社
申込期限 12月15日(金)
対象エリア: 熊本連携中枢都市圏の構成市町村(熊本市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町)

日時 2024年2月27日(火)
9:30~17:00

募集対象 加工食品事業者 (加工食品、調味料、飲料、酒類、パン類、惣菜、お菓子など)
工芸品製造業者 (木工品、陶磁器、ガラス工芸品など)

会場 熊本城ホール
3階大会議室
熊本市中央区桜町3番40号

申込方法 こちらのホームページからシートをダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、メールでお申し込みください
<https://www.ffgbc.com> ffgbc 検索

内容 個別商談会
展示コーナー
(自社の商品、パンフレット等を設置)

参加バイヤー(予定) ●イオン九州株式会社 ●極東ファディ株式会社
●株式会社サンクゼール ●株式会社エース(北野エース)
●株式会社トーホー ●株式会社岩田屋三越 など

※応募多数の場合には、主催者にて選定させていただきます。
※法人は法人登記の住所(本店又は主たる事務所の住所)、個人事業主は本社又は主たる事務所の住所が熊本連携中枢都市圏の構成市町村内であること。

※お申込み後のキャンセルは原則としてできませんのでご了承ください。
※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

事前対策セミナー

商談力・商品力向上のために!

商談の基礎知識及び対策をメインに、参加者皆様の商談力向上のサポートの為にオンラインセミナーを開催いたします。

- 販路開拓の基礎知識
- 商談の進め方
- 模擬商談(模擬商談実演、フィードバック)

会場 熊本城ホールまたは自身の事務所にて(オンライン形式)
日時 2024年1月24日(水)13:00~ 2時間程度(休憩を挟む)
費用 無料 **講師** 永瀬 正彦氏

商談会後対策セミナー

商談後、バイヤーとの交渉術!

商談後のバイヤーとのやり取りは重要です。成約率向上のためのバイヤーとの向き合い方や交渉等のポイントなどオンライン形式にてセミナーを開催いたします。

- バイヤーとの向き合い方
- 商品ブランディングで価値をあげる
- フォローアップで成約を勝ち取る!

会場 熊本城ホールまたは自身の事務所にて(オンライン形式)
日時 2024年3月6日(水)13:00~ 2時間程度(休憩を挟む)
費用 無料 **講師** 永瀬 正彦氏

講師プロフィール 永瀬 正彦氏 (有)永瀬事務所 代表取締役(バイヤーズ・ガイド編集発行人)

平成11年に有限会社永瀬事務所を法人登記し取締役に就任。平成20年には、食品を作る人と買う人を結び、最終的に消費者と結びたい。そして地域と消費地を結びたいという思いから、『バイヤーズ・ガイド』を創刊、編集発行人に就任し現在に至る。日本全国を自らの足でたずね歩き、各地域の方々と出会い、地元の食をいただき、販路開拓のお手伝いをするのが至上の喜び。現在47都道府県すべての自治体をまわり14週目に入っている。中央省庁や地方自治体の各種審議会委員や有識者としてアドバイザーを務める。



主催
熊本市

お問い合わせ先
(事務局)

FFGビジネスコンサルティング・熊本銀行(協力)
TEL.092-723-2244

〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1
受付時間 9:00~17:00(但し、土・日・祝日は除く) **【担当:皆川・田中】**

地域と共生するFFG

長崎県美術館

過去・現在・未来を繋ぐ場所

(公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団)

館長 こさか さとこ 小坂 智子 氏

取引店: 十八親和銀行 県庁支店

Profile: 東京生まれ。慶應義塾大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。シドニー大学大学院文学部芸術学専攻修士課程修了。石橋財団ブリダストン美術館、慶應義塾大学アート・センター、長崎国際大学、佐賀大学芸術地域デザイン学部長勤務を経て現職。報告書に「Dark Tourismの現状と展開に関する研究」、「日本の『近代美術館』草創期の思想を聞く」(共著)などがある。

長崎ゆかりの美術とスペイン美術が2大コレクション

地域の美術品を収集、調査、展示して、未来へと伝える

2020年4月、長崎県美術館の新館長として就任した小坂智子氏。館長就任は小坂氏で3人目。女性は初めてとなる。コロナ禍を経て2025年に20周年を迎える長崎県美術館をどうダイレクションしていくのか。小坂館長にインタビューを行った。

長崎港や長崎水辺の森公園に隣接 自然と調和したモダンな美術館

当館は長崎水辺の森公園の一角にあり、世界的な建築家・隈研吾くまけんごがデザインしたモダンな建物は数々の建築賞を受賞しています。収蔵作品の大きな柱は、長崎ゆかりの美術とスペイン美術です。スペイン美術は第二次世界大戦中、

1941年から5年間、特命全権公使としてスペインに赴任していた須磨彌吉すまやきちろう郎が主にマドリッドにおいて蒐集した「須磨コレクション」を核としています。1970年に須磨の意志によつて78点の作品が長崎県に寄贈されたことを始まりに、その後もスペイン美術の受贈と購入を重ね、現在ではゴヤ、ピカソ、ダリをはじめとするスペイン美術コレクションが形成されています。

当館の特徴は県の直営ではなく指定管理者制度を採用し、公益財団法人長崎ミュージアム振興財団が運営にあたっているということです。指定管理者制度のメリットは、効果的で効率的な管理運営にあります。具体的には、集客力のある企画や長崎ならではの展示等、

バラエティに富んだ展示会を開催できるといふ点です。「イスラエル博物館所蔵ピカソひらめきの原点」「スタジオ設立30周年記念ピカソ展」「荒木飛呂彦あらかひろひこ原画展 J〇J〇 冒険の波紋」など、大都市しか巡回しないような企画展を九州では当館のみが開催しています。こうした企画展は今後もコンスタントに開催してまいります。



常設展示室(スペイン美術)の見学風景



松尾支店長(十八親和銀行)

コロナ禍と重なった館長就任 美術館の在り方を考える

ここで私のことを少しお話ししますと、東京生まれ東京育ち、2000年に長崎県佐世保市の長崎国際大学の教員になり、初めて長崎県にまいりました。もともと美術館勤務や大学で美術史を教えていた関係で、長崎県美術館ができる前の「長崎県新美術館基本構想専門家会議」のメンバーになり、外部から当館に関わっていました。館長としては3年目ですが、関わってきた年数は一番長いかもしれません(笑)。



1



2



3

館長に就任して間もなく、新型コロナウイルス

感染症拡大防止のため約1カ月半臨時休館しました。その後も開館時間短縮、展覧会や事業の規模縮小・中止を余儀なくされました。コロナ禍は計画していたことが計画通りにできない

もどかしさがありました。美術館の在り方を立ち止まって考える良い機会にもなりました。最近になって、ようやくいろいろなことが動き

出しました。一度途絶えた人の流れを再びもとに戻すのは容易なことではありませんが、アトから遠ざかっていた方々も少しずつ元の生活を取り戻していただければと思っています。

長崎県に住むすべての人に 生涯学習の場を提供する

長崎県ならではの生涯学習事業として「移動美術館」があります。長崎県は離島が多く、地理的な条件から、気軽に美術館を訪れ収蔵作品を鑑賞することが難しい地域があります。そこで、希望する県内市町との共催により、当館の収蔵作品の中から20〜40点の作品を選んで展示する展覧会を年間2会場を選定して開催し、開催地や周辺市町の地域住民の方々に芸術鑑賞の場をご提供しています。



小坂館長

実は当館ができる前から長崎県で独自に行っている事業で、県の美術館としての使命である
と位置づけています。

2021年度より当館所蔵作品を活用した「平和教育×鑑賞教育」プログラムの開発に取り組んでいます。収蔵作品の中には、戦争の悲惨さ、平和に対するメッセージがこめられた写真や絵画、彫刻作品が数多くあります。本物の作品の前に、対話型鑑賞を取り入れた新しいスクールプログラムです。

また、「ほっとミュージアムクーポン」という企画では、長崎県内の不登校児童・生徒と



4



5

1.美術館は運河を挟み、西側と東側二つの棟で構成される／
2.波佐見焼の陶板を用いた壁面は、間接照明があたり柔らかな光を演出／3.常設展示室(長崎ゆかりの美術)の見学風景／
4.「平和教育×鑑賞教育」プログラム。写真は小学校で実際に授業を行った様子／5.幼稚園・保育園の子どもたちに親しみやすいよう、作品鑑賞と表現活動を組み合わせたスクールプログラムもある／
6.GWの親子イベント「春のぼかばか美術館」で行われた「ながさきのくしゃくしゃおぼけ」



6

保護者、関係者に美術館での作品鑑賞のほか、ミュージアムカフェでの軽食またはショップでの飲食物購入ができるクーポンを提供しています。学校単位ではなく個人に目配りすることも大事なことだと思っています。

企業とのコラボレーション

大学・医療機関とも連携

企業とのコラボレーションについては、過去に

「AIGコレクション」「親和銀行コレクション」

「十八銀行コレクション」など、企業の所蔵品を

公開する展示を行っています。また、2024年1月8日(月・祝)まで企画展「浪漫の光芒―永見徳太郎と長崎の近代」を開催中です。

長崎有数の資産家として「銅座の殿様」とよばれた永見徳太郎ですが、大叔父は国立第十八銀行の初代頭取、自身も監査役を務めるなど、十八親和銀行に関わりが深い人物です。今後もこうした長崎ゆかりの企画展は継続してまいります。

当館の活動を応援したい企業向けに「ミュージアムパートナーズ(賛助会員)」「年会費・1口5万円」というプランがあり、

現在79社100口の企業が申し込まれていますが。会員になられると館内とホームページ、アートビジョンで企業名を掲出します。館主催企画展チケットも1口50枚お渡ししていますので福利厚生や営業ツールにもお使いいただけます。

ゴールデンウィークでは、アートに触れながら親子で楽しめるイベント「春のぼかぼか美術館」を開催しました。イベントでは、新聞紙を巻きつけたターザンロープにぶら下がったり、新聞紙をちぎったりして遊ぶ「ながさきのくしゃくしゃおぼけ」や、直径5mのパエリア鍋に見立てた遊具でムール貝やトマトの恰好になって遊ぶ「パエリアの具になる！」など、子どもたちに好評でした。

また、他領域との連携も深めていきたいと考えています。7月には初の試みとして、医療従事者向けのセミナー「白衣の中に、アートの心。」を企画しました。アート鑑賞が医療現場にどう活用できるかについて理解を深めていただきました。

今後はコロナ禍で中止を余儀なくされていた関係各所との連携を復活させ、企業はもと

より、医療機関、大学等と協調していけたらと思います。

美術館の根幹は収蔵作品 土台を固め20周年を迎える

2025年、当館は20周年を迎えます。長崎県にとっても2025年は、被爆80周年、長崎歴史文化博物館開館20周年、長崎空港開港50周年、中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年、第40回国民文化祭開催など、長崎県の文化振興、平和推進、国際交流において大きな節目の年となります。

今、20周年に向けて企画を考えている最中ですが、20年の土台があるからこそ、次の20年を考えることができるのだと思います。文化はすぐには芽吹きません。種まきし続けることが大事です。保育園や幼稚園のスクールプログラムで当館に来た子どもたちが、今、大学生になって再び足を運んでくれています。当館の常連さんで、小さい頃から美術館に親しんでいるお子さんがいますが、学芸員のギャラリートークに大人に交じって参加し、真剣に

聞いて自分の意見をきちんと話します。豊かな感性や表現する力をもった子どもたちがきちんと育っているのは当館の誇るべきことだと思います。

美術館の根幹に収蔵作品があります。作品を収集し、調査・研究を行いその成果を展示することで好循環が生まれます。今年度開催したコレクション展で「新収蔵—池野清と池野巖^{いわお}」があります。昭和の長崎で活動した洋画家・池野清と池野巖の兄弟で、彼らはともに被爆者であり、中央画壇の潮流からは距離を置きながら作品を制作しました。現存作品が極めて少ない作家で、最初は小さな展示会から始まりました。調査・研究を続けていく中で作家や作品についての情報を得たり、個人の方から寄贈を受けて、今回のような展示に繋げることができました。

当館は長崎市出島にあります。かつて出島は新しいものが入ってくる場所でした。当館は令和の「出島」の役割を担い、この場所から芸術文化を発信していきたいと思っています。



屋上庭園にて。前列左2人目から村上総括マネージャー、小坂館長、松尾支店長(十八親和銀行)、松田サブマネージャー

長崎県美術館

- 所在地：長崎市出島町2番1号
- 電話番号：095-833-2110
- 開館時間：10:00～20:00
- 休館日：毎月第2・第4月曜日(休祝日の場合は翌火曜日)、年末年始
- 入館料：無料
- 観覧料：コレクション展 一般420円 ※企画展は展覧会によって料金が異なります
- アクセス：路面電車▶「出島」電停より徒歩3分
 「メディカルセンター」電停より徒歩2分
バ ▶「新地中華街」バス停下車徒歩5分
 「長崎県美術館」バス停下車(土日祝)
J R▶「長崎駅」より徒歩15分
車 ▶長崎自動車道・長崎ICよりながさき出島道路経由5分

H P



X (旧Twitter)



Instagram



浪漫

の

A Romantic Shaft of Light

光

芒

永見徳太郎

と Nagami Tokutarō and Modern Nagasaki

長崎の近代



溝谷国四郎《長崎の人》(部分) 1916年、油彩・カンヴァス、倉敷市立美術館 (永見旧蔵品)

観覧料 一般 1200 (1000) 円

大学生・70歳以上 1000 (800) 円

高校生以下 無料

※()内は前売りおよび15名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者および介護者1名は5割減額

※前売券の販売は、10月13日(金)まで

※会期中本展観覧券でコレクション展にも入場できます。

※会期中本展観覧券の半券提示で前売り料金にて入場できます。

※会期中一部作品・資料の展示替えがあります。

前期 10月14日(土)~11月5日(日)

中期 11月7日(火)~11月26日(日)

後期 11月28日(火)~2024年1月8日(月祝)

【お問い合わせ】

長崎県美術館

長崎県長崎市出島町2番1号

TEL: 095-833-2110

www.nagasaki-museum.jp

最新の開催状況及び注意事項は、長崎県美術館ウェブサイト、またはお電話にて確認ください。



長崎県美術館

2023年

企画展示室

10月14日

【土】

2024年

1月8日

【月祝】

お客さま向けセミナー 『第10回 海外駐在員が語る 「アジアの“今”」』を開催しました!

FFGならびにグループ3行(福岡・熊本・十八親和)は、9月25日(月)に西鉄グランドホテルにおいて、お客さま向けのセミナー『第10回 海外駐在員が語る「アジアの“今”」』を開催しました。



セミナー会場の様子



左から、大連駐在員事務所 益野所長、上海駐在員事務所 西村所長、香港駐在員事務所 稲富所長、台北駐在員事務所 大山所長、ホーチミン駐在員事務所 吉永所長、バンコク駐在員事務所 山本所長、シンガポール駐在員事務所 花森所長



バンコクの状況を説明する山本所長



企業交流会の様子

本セミナーは、FFGのアジア7拠点(大連・上海・香港・台北・ホーチミン・バンコク・シンガポール)の海外駐在員事務所長が一堂に会し、第一部では現地の最新トピックスや海外進出サポート事例等の講演を行い、

第二部では参加企業交流会を開催しました。4年ぶりの開催となった今回、第一部では募集予定人数を超える145名(会場93名・77社、オンライン52名)のお客さまに参加いただき、第二部では海外駐在員事務所長と情報交換をするための列ができるなど、

海外ビジネスへの関心の高さを改めて確認することができました。FFGは、今後もお客さまの海外ビジネスにおける課題解決や事業拡大のサポートを通じて、お客さまの価値向上、地域経済の発展に貢献します。



インドネシアの再生可能エネルギー産業にかかるビジネスチャンスについて

はじめに

インドネシアの概況および日系企業の進出動向

インドネシアは2億7千万人(世界第4位)を超える人口に加えて、労働人口が世界第4位と豊富な労働力を有し、人口の約9割がイスラム教徒で形成されています。主要言語はインドネシア語ですが、ビジネスでは英語が使用されます。外務省による海外進出日系企業拠点数調査によると、同国に進出している日系企業は年々増加しており、2022年10月時点で2,100拠点を超え、国別の進出順位では第6位となっています。従前は安価な労働力を求め、トヨタ自動車等の自動車メーカーを筆頭に家電・食品・衛生品・素材メーカー等の日系企業が進出してきましたが、足元は都市圏の人口増加や脱炭素化を進める政府の産業政策などを受け、都市開発・エネルギーインフラ設備の分野に注目が集

まっていることから、日系企業の同分野への進出が増えてきております。

インドネシアの再生可能エネルギー産業について

化石燃料への依存度が約9割と高いインドネシアでは、国家目標として2030年までに約43%の温室ガス削減を掲げていることから、今後再生可能エネルギー産業の需要拡大が期待されています。九州の企業では、既に九州電力が同国で地熱発電事業を行っており、その他日系企業も水力発電や太陽光発電等の再生可能エネルギー産業に参入しています(表1)。さらに同国では、現在の首都であるジャカルタから未開拓地であるカリマンタン島東部の「ヌサンタラ」(ジャワ語で群島の意味)に首都移転(図1)する計画があり、新首都圏における再生可能エネルギーを軸とした大規模な電力インフラ整備の必要性

図1 ジャカルタからヌサンタラへの首都移転



表1 インドネシアの再生可能エネルギー事業に参画している日系企業

日系企業	事業開始年月	事業内容
九州電力、伊藤忠商事等(共同出資)	2018年5月	地熱資源開発から地熱発電までの一貫開発
NiX JAPAN	2019年11月	水車形式水力発電
日揮ホールディングス、大阪ガス等(共同参画)	2022年4月	クリーンバイオメタン燃料製造
ENEOS	2022年6月	太陽光発電自家消費支援



■ 表2 知的財産競争力の国別比較

	水素	洋上風力	燃料 アンモニア	原子力	カーボン リサイクル
第1位	日本	中国	米国	米国	中国
第2位	中国	日本	中国	中国	米国
第3位	米国	米国	日本	イギリス	日本
第4位	韓国	ドイツ	ドイツ	日本	韓国
第5位	ドイツ	韓国	イギリス	韓国	フランス

(2010-2019年のトータルパテントアセットの総和を各分野・各国で比較。)
 ※トータルパテントアセットとは、特許の引用数・閲覧数・排他力(無効審判請求数等)、特許残存年数などから算出した指標。
 出所)経済産業省

■ 表3 ハラルについて

ハラルとは
ハラル(halal)とは、イスラム教の教えにおいて「許されている」という意味のアラビア語です。イスラム教徒の人々(ムスリム)にとって、ハラルは生活全般においての指標のようなものです。食べる物だけでなく行動や行為、服装などといった全てのものにおいて、それがハラルかどうか=神に許された「もの」や「こと」なのか、ということをもベースに生活しています。
ハラルにおいて避ける例
<ul style="list-style-type: none"> ・豚肉 ・アルコール飲料(アルコール消毒液も含む場合あり) ・女性の肌の露出 等

出所)一般社団法人 ハラルジャパン協会

の面からも、当該産業の市場拡大が期待できます。

インドネシアの再生可能エネルギー産業にかかるとビジネスチャンス

再生可能エネルギー業界は、技術コンサル、プラントエンジニアリング、O&M(オペレーション、メンテナンス)、物流など様々な分

野と密接に関係しているため裾野が広く、多くの企業に参入機会が期待できる産業です。加えて、経済産業省の公表データによると、日本は脱炭素技術における知的財産(特許の引用数、注目度、排他性などによる評価)において、主要各国と比較し優位にあり、業界において競争力を有していると言われております(表2)。さらに、日本とインドネシアはエ

ネルギー構造に関し、石炭火力が多いなど類似しており、かつ島国であるといった共通の地理的な課題も有していることから、安定供給・経済効率性・環境への適合のバランスを追求する日本独自のアプローチが可能です。再生可能エネルギー産業における高い競争力、独自の提案力を背景に、同産業に関わる九州の企業においては新たな商機に繋がると考えます。

さいごに

今回はインドネシアの再生可能エネルギーに伴うビジネスチャンスについてレポートしましたが、シンガポール事務所ではインドネシアとマレーシアも管轄しております。インドネシアへの進出は、外資規制、現地特有の法律、宗教上の慣習である礼拝および断食、またその制約としてハラル(表3)等があるため、進出時に現地コンサル等のアドバイスは必須ですが、当事務所では、現地市場調査のみならず、進出の事前相談を行う現地コンサルや事業者等も紹介可能です。F F Gでこれまで培った海外現地ネットワークを最大限生かし、お客さまの海外進出支援に取り組みさせていただきます。

2023年8月28日現在
 (シンガポール駐在員事務所
 所長 花森聡)

Topics of the month

スタートアップイベント 「FUKUOKA STARTUP WEEK」での GROWTH Iを活用したFFGの取り組み!

2023年10月4日(水)～5日(木)、大名ガーデンシティテラスのGROWTH Iで複数のイベントを開催しました。

スタートアップを盛り上げる イベントの開催

「スタートアップ都市ふくおか」を宣言している福岡市では10月1日(日)～7日(土)の1週間を「FUKUOKA STARTUP WEEK」として、Fukuoka Growth Nextを中心としたエリアで、スタートアップイベントが複数開催されました。

FFGでは、10月4日(水)・5日(木)の2日間、GROWTH Iのイベントスペースで複数のイベントを開催しました。

キューテック助成金贈呈式

福岡銀行が創立40周年を記念して設立した一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団(通称、キューテック)は産業界、学会等幅広く識者のご意見をいただき、地域の技術指向型

【表1】研究開発助成事業で採択された「大学・高専部門」及び「中小・ベンチャー部門」合計11の技術シーズ

■ 大学・高専部門

学校名	研究者名	所在地	研究開発テーマ
国立大学法人鹿児島大学	石川 岳志	鹿児島県	抗体医薬品の開発コストを軽減するインシリコ技術の社会実装
国立大学法人熊本大学	梅本 晃正	熊本県	グルタミン代謝制御による造血幹細胞の試験管内増幅法の開発
国立大学法人熊本大学	喜多 加納子	熊本県	新しいがんの進展仮説に基づく中分子IT創薬モダリティ
国立大学法人九州工業大学	徳永 旭将	福岡県	アダプテーション機能を有する焦点的外観検査AI技術の開発
公立大学法人北九州市立大学	松田 鶴夫	福岡県	脳機能賦活を誘起する手指リハビリテーション支援統合システムの企業化
国立大学法人佐賀大学	村田 大紀	佐賀県	新規半月板再建技術の開発

<五十音順>

■ ベンチャー企業・中小企業部門

企業名	代表者名	所在地	研究開発テーマ
株式会社Walkable Future	外山 研介	福岡県	新しいアプローチによる血管新生治療薬の開発
株式会社サーモンテック	田邊 将之	熊本県	安価でウェアラブルな超音波プローブの開発
株式会社HaKaL	宮崎 真佐也	福岡県	家畜感染症拡大防止を目的とする現場で迅速に判断できる高速・高感度簡易病原体検出キット開発
株式会社フィールドワーカーズ	星 友矩	長崎県	蚊やマダニの研究開発を支える機材キットの開発
株式会社Booon	橋爪 海	長崎県	食品加工残渣を活用した半自動ミルワーム生産システムおよび機能性虫粉由来の水産養殖飼料開発

<五十音順>

ベンチャー企業・中小企業に対し、研究開発及び人材育成に対する助成、講演会の開催、情報の提供等各種の事業に取り組んでいます。

今年度の研究開発助成事業で採択された「大学・高専部門」及び「中小・ベンチャー部門」合計11の技術シーズ【表1】に対し助成金贈呈式が執り行われました。

助成金贈呈式では、キューテック 松延常務理事（FFGベンチャービジネスパートナーズ/常務）から助成金の贈呈が行われた後に、各大学・企業の取り組みの説明が行われ、新たなビジネスの期待が高まる式典となりました。



キューテック助成金贈呈式参加者の集合写真
前列左から4番目がキューテック 松延常務理事

FFG Session 大学事例から学ぶスタートアップ 人材輩出に向けたアレコレ

FFG主催のトークセッションとして、スタートアップ人材育成をテーマに、東京大学工学系研究科の村田幸優氏と株式会社ファストトラックイニシアティブの深津幸紀氏が登壇しました。スタートアップ人材輩出に力を入れてきた東京大学の豊富な事例をベースに、人材の育て方からその後の活躍の場の提供の仕方までの取り組みの紹介がありました。



左から深津幸紀氏、村田幸優氏

X-Tech Match up 展示会

本イベントでは、九州の地場企業とスタートアップを結びつけるマッチングの場を提供しました。

豊富なビジネスの経験を持つ地場企業と、新しい技術やテクノロジー、ビジネスアイデアを持つスタートアップが協業することで、地場企業側は新事業開発、業務効率化・社内課題の改善を目指し、スタートアップはビジネスの飛躍のきっかけをつかめます。

展示会では、多くの人が来場され、新たなビジネスの可能性が感



展示会の様子

じられる先進的な技術や商材の説明を熱心に聞かれました。今後もFFGでは、GROWTH Iを活用したイベントを開催し、スタートアップ企業や地域企業の交流の場を提供することで、地域の更なる発展を目指してまいります。

■ X-Tech Match up参加企業一覧 (順不同)

- oVice 株式会社
- 株式会社 Liberaware
- 株式会社 アミカテラ
- 株式会社 ジェイタマズ
- 株式会社 レボーン
- ニューワールド 株式会社
- ワアク 株式会社
- 株式会社 新出光



企業間の交流も活発に行われていた

進む高等学校と企業の連携

今回は、静岡県内の高等学校（以下、高校）と企業が連携した取り組みをご紹介します。

広がる高校と企業との取り組み

高校と企業が連携する事例が増えている。2022年度から、高校は、激しい時代の変化に対応できる生徒の育成を目的とした「総合的な探求の時間」が本格的にスタートした。生徒自らが課題を発見し、その解決策を立案するもので、まちづくりなど地域を題材にした取り組みが推奨されている。企業にとっても、目に見える地域貢献となるほか、高校との取り組みはメディアに取り上げられるケースも多く認知度向上の期待もある。

静岡県立熱海高等学校×パン樹久遠（熱海市）

国内栽培発祥の熱海レモンをスコーンに高校生と地域を盛り上げる想いを共有

熱海高校は、観光地「熱海市」における唯一の高校。これまでも宿泊施設を1館まるごと生徒が運営する「高校生ホテル」に取り組んできたが、観光地としての新たな魅力開拓も必要と考え、同市が国内栽培の発祥の地とされるレモンのブランド化を計画した。

まず、レモンの栽培農家が市内に2軒しかないことから、植樹を展開。地域の小・中学校や学校までの通学路、リゾート施設「PICA初島」に苗木を植樹し、栽培に取り組む。次に、商品開発に

も着手。授業で交流のあった熱海駅前仲見世通り商店街のベーカリー「パン樹久遠（株久遠）」に協力を依頼した。同社の武山社長は熱海市出身であり、商店街の役員も務めることから、高校生と地域を盛り上げたいという想いに共感。商品のコンセプトづくりや最初の試作は生徒が中心になって行った上で、社長も学校に赴き製品化を支援、蜜漬けのレモンを生地に練りこんだスコーンが完成した（写真1）。生徒により「純情熱海檸檬」と名付けられた同商品は、2020年10月に1個220円（現在は230円）で販売が開始され、「パン樹久遠」の定番商品となっている。武山社長は商店街の近隣店舗などにも声を掛け、連携の輪を広げようとしている。さらに学校側も、「企業との取り組みは、通常の授業よりも生



静岡銀行

徒の主体性が発揮されるとともに、教員も企業との接点ができ、視野を広げられる」として、取組みを評価している。



▲写真1 専門家の助言を受けて開発したレモン香のスコーン

静岡県立駿河総合高等学校×(株)静鉄リテイリング(静岡市)
**生徒のアイデアをカフェのメニュー開発に生かす
 企業は若手社員の育成機会として活用**

駿河総合高校(静岡市)は、地域とのつながりを意識した活動に力を入れており、2021年度

からは、3年生の「課題研究商業」の授業の一環として、静岡県中部地域で交通事業を展開する静岡鉄道(株)のグループ会社である(株)静鉄リテイリングと、高校生のアイデアと感性を生かした製品づくりやワークショップを実施している。2020年に高校生を対象とした静岡市主催のイベントに参加した際、地域貢献を考えていた同社から声を掛けられたことが、連携のきっかけとなった。同社は、県内のサービスエリアの売店やハンズ静岡店の運営を担っている。

2022年度は、(株)静鉄リテイリングから派遣された社員による講義やグループワークへの支援を通じて、茶室と日本庭園が人気の観光施設「玉露の里」内にあるカフェ「うさぎの隠れ家」(同社運営)のメニュー開発をテーマに取り組んだ。SNSで流行していたアフタヌーンティーを楽しむ「ヌン活」に着目する一方、お茶離れが進む若者向けに急須で入れる緑茶を楽しむメニューができた(写真2)。1日6食限定(事前予約制)、価格は2,200円(税込)と高価ながらも、高校生が考えた食事内容やデザインが評判となり、同社のインスタグラム投稿の「いいね」獲得数は過去最多を記録し、販売期間を延長するほどの好評ぶりとな

った。

学校側は、企業との連携を通じ、原価計算など小売業の現場を深く知ることができていることを評価する一方、同社でも、「授業の講師に若手社員を抜擢することで、社員の成長につながる」としており、「今後も高校との協働活動を継続していきたい」と話す。



▲写真2 うさぎの隠れ家のコンセプトに合わせた和洋の食材が並ぶ(写真:株)静鉄リテイリング

浜松学芸中学校・高等学校×白井商事(株)(浜松市)

浜松注染浴衣のフォトブックを制作 若者世代の地場産業への興味関心を高める

浜松学芸高校は、生徒の個性を形にする教育に力を入れており、「地域を学びに変える」ことを目標に掲げ、地域の企業と協働する場を設けている。その活動の一つに、浴衣の染め物技法である「浜松注染そめ」を手掛ける浴衣メーカー、白井商事(株)とのプロジェクトがある。同社は、文化祭で



▲写真3 生徒がモデルとなり、浴衣の“着姿”を美しく表現したポスター
写真:白井商事(株)、撮影:撮影モデル:浜松学芸高校 社会科学部地域調査班

浴衣をレンタルしたことを契機に同校と接点ができ、「地元の子が知っているからこそ地場産業といえる。注染浴衣という地場産業を若い世代に知ってもらいたい」(専務取締役の白井成治氏)との想いで、同校にフォトブックとポスター制作を依頼した(写真3)。

生徒たちは、初めての浴衣撮影に戸惑いながらも、着用姿がイメージできるようにしたいという同社のオーダーに応えるべく、自身がモデルとなり、撮影場所やポーズ、シチュエーションを工夫。撮影後の編集会議では、浴衣の柄名と添えるキャッチコピーなども生徒が考え、若い世代が着てみたいと思える場面を意識した内容に仕上げた。フォトブックは、同社が取引先へ渡すカタログとして活用されており、評判も上々だ。この企画以降も同社は継続して制作を依頼しており、他にも生徒による注染そめ

の生地を使用したオリジナルシャツブランドの制作や創作盆踊りイベントの開催など、連携の幅を広げている。

教育とビジネスの違いを 考慮し連携を

高校と企業との連携のポイントは、両者の立場・考えの違いを認識することである。高校は教育を目的とし、授業の時間割をベースに計画を立てる一方、企業側は、迅速な製品化や一定の販売実績を求める傾向にある。企業は、こうした連携事業を、当初から社会貢献の一環として認識した上で取り組む必要がある。また、学校側は毎年生徒が代わるため、継続して連携していくには、特定の教員やクラスと付き合うだけでなく、学校側と幅広い関係を構築していくことも重要となる。

高校と企業との連携は、地域の将来を担う人材育成につながる。SDGsの推進や地域貢献活動を検討している企業には、その具体策として高校との連携を考えてみてほしい。

(文責:一般財団法人静岡経済研究所 玉置実)

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ①複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ②他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】**
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)

九州の星
Star of Kyushu

| 85 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです

ジェイク、我が家にやって
来てくれてありがとう！
君は最高の相棒だ！



ペットショップで売れ残っていたジェイクを奥様が気にかけて家にお迎えしたのが始まり。現在はジェイクの娘・トリクシー（3歳）も競技で活躍する



奥様の三加子さんと一緒に。奥様が抱えているのはジェイクの妻でリノ

日本フリスビードッグ協会
「ジャパンファイナル2023」
小型犬の部 チャンピオン

愛犬との絆が深まるフライングディスク

今年5月、三重県鈴鹿市で開催された日本フリスビードッグ協会主催の「ジャパンファイナル2023」の小型犬部門で日本一に輝いた川口輝さんと愛犬ジェイク（ジャックラッセルテリア、雄11歳）。5年ぶり2度目の優勝を飾った。フリスビードッグ（※）は、人間が投げたフライングディスクを愛犬がキャッチして戻ってくる競技。これを60秒間繰り返し得点の合計を競う。より遠くに投げた方が得点が高くなる。

長らく優勝から遠ざかっていたことを川口さんは「この競技は人間のメンタルに影響します。犬はいつも一生懸命走ってくれる。優勝したことで自分で自分にプレッシャーをかけて追い込んでいました」

と分析。突破口は「信頼関係」だった。「ジェイクと競技するときは、お互い『俺に任せろ！』状態です（笑）」。

大会出場時、ジェイクは10歳11カ月。人間なら還暦だ。「ジェイクと一緒に戦えるのは今年が最後かもしれないと、一投一投丁寧に、真剣に挑みました」。

現在、フライングディスク競技の魅力をもっと知ってもらいたいとチーム「テクニカルドッグスポーツ熊本」を立ち上げ、月1回集まって練習をしている。

「来年4月、ジャパンファイナルが福岡で開催されます。チーム全員がそのステージに上られるように頑張りたいです」

（※）フリスビードッグの「フリスビー」はアメリカカウムオー社の登録商標のため、最近では「フライングディスク」の呼称が一般的になっている

川口 輝

KAWAGUCHI AKIRA

熊本市出身・在住
勤務先：熊本市西消防署
河内出張所 所長



◀ディスクをキャッチしようとするジェイク



▲月1回、南阿蘇などでチーム練習を行う。ディスクの飛ばし方などのコツを伝授



▲フライングディスクのチーム「テクニカルドッグスポーツ熊本」。愛犬と一緒にパシャリ



5



2



3



6



4



ちよっと釣道

閲覧注意

[佐賀平野、あの夏の
足元の巨大怪魚・雷魚編]

Vol.21

①去りゆく夏に何想う…… ②何千、何万回ものフルキャスト ③噛まれたら雷がなるまで離さないと言われる所以のこの口と牙 ④まさにニシキヘビのようなスネークヘッドとはよく言った魚体。子供の頃、捕まえたぐらいのサイズかも ⑤遠くに雲仙岳が浮かび上がる ⑥麦の穂は夏の日差しに揺れる

水面爆発!…その魚ほど、この言葉がしつくりくる魚種もないだろう。ゴイツ、あの時のに似てるわ。

雷魚……。私が釣りを語る時この魚は外せない。正式名称・カムルチー、英名:スネークヘッドと呼ばれるこの魚、外観にニシキヘビの様な斑紋があり最大1mにもなる。こんな魚が実は皆様の身近な水辺に生息していることをご存じだろうか。これを釣るのは、見た目もだが、その大きさや荒々しいファイトから現代人が忘れた狩猟に近いとさえ思う。

そんな雷魚の性質は、醜怪な見た目と裏腹に実は臆病で神経質。また稚魚を口腔内で育てる子供想いの魚なのだ。

夕立が降った後の土の匂い、森の中の湿った樹木から香り立つ匂い、おばあちゃん家の玄関の匂い。佐賀平野はそんな懐かしい匂いを思い起こさせる。夏の陽の光に掌をかざすと遠く雲仙まで見渡せその間に巨大な入道雲が湧き上がり田舎の夏休みの残像まんまの少年の頃の記憶が蘇る。

そして暑くなると、平野に黄金色の麦の穂がなびく。その様に STING の「Fields of gold」のアコギのソロの切なく

も豊かで叙情的な音色が聞こえた気がする。

ここは大麦の国内有数の産地であり、平野は網目のようにクレークが張り巡らされ、雷魚はそこで数多く生まれ育ち、全国からたくさんさんの雷魚ハンターを呼び込むほどののだ。

実はこの身近な怪魚との出会いは小学3年生に遡る。近所にある用水路を何気なく見た時に川底に埃を被る古いタイヤのようなものが目に入った。よく見るとそれは僅かに脈動しヒレらしきものを動かしている。「なに!?生き物?」目を凝らすと斑紋が微かに見える。家に帰り父に話すと「それは雷魚かもな」と言う。頭の中はそれを捕まえない衝動でいっぱいになった。

調べると雷魚は台湾ドジョウや朝鮮なまずとも言われ、食糧難を解決するため3種が移入された外来魚らしい。

一方で最近では、そもそも北海道にはアムール川に生息していた亜種が国産で生息していたとされる。ある意味外来魚でもあり純国産魚でもあったのだ。そこらの鯉の方が今ではよっぽど外来魚と認定されている。

どうしても雷魚を語ると長く

なるが、少年は網を手にその雷魚をすくに行き一日かけてゲットした。その個体は50cm前後の中小型だったと思うが小学生の目には巨大な謎の怪魚にしか映らない。当時近くにあったTV局にそれを

持つていこうとしたが(笑)玄関先に転がる怪魚をみたおばあちゃんから逃がしてきんしゃい!と一喝され、結局逃がすことにした。

時は過ぎ中学生になると雷魚は平和台の堀にたくさんいると知り、餌で釣った小ブナをお堀の水蓮の間に垂らす。それをガバツと雷魚が襲う。これが釣った最初であったのは暗示かもしれない。

そして大人になり、車という機動力を手にし効率的に魚を狙える様になると佐賀平野に多く生息していると知る。

でも仕事で佐賀に赴任してから、それは日常になり特別で無くなる。いつしかその釣りはしなくなつた。それでもハスやヒシに覆われた水面から「バシユッ」と捕食音が響くと萌える。そして優しく揺れる大麦の穂を見やり夏の匂いが鼻腔を擦ると、あの頃の狩りへの高揚感、雷魚の暴力的なファイトを思い出すワケよ。

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、同研究所の調査研究レポートのなかから、「地域まるごとホテル『アルベルゴ・ディフーズ』の取組み」を紹介します。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



ながさき経済web画面

お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



地域まるごとホテル 『アルベルゴ・ディフーズ』の取組み

長崎経済研究所 調査研究部

はじめに

コロナ禍となつて4年目となる今年(2023年)は、世の中がコロナとの共存に舵を切りはじめた年となった。人々の移動制限・マスク着用在が緩和され、禍中に最も大きなダメージを受けていた観光地にも活気が戻ってきている。コロナ禍で疲弊してしまつた地域にとつて、さまざまな産業にその恩恵が波及する観光業の復活は、注力すべき課題の一つとなつており、以前にも増して地域の魅力を高めて、それをアピールする必要性に迫られている。

人々の注目を集めて、訪れてもらう地域となるために、他所との差別化を図るべく、アルベルゴ・ディフーズ“なる手法を採用、展開している地域がある。本稿では、この少し言いにくく、かつまだあまり聞きなれないこのアルベルゴ・ディフーズのわが国における展開について考察する。

I アルベルゴ・ディフーズについて

1. アルベルゴ・ディフーズとは

アルベルゴ・ディフーズ(Albergo Difuso。以降ADと表記)とはイタリア語で、“アルベルゴ”は「宿」、”ディフーズ”は「分散した」を意味しており、直訳すると“分散型の宿”となる。分散型の宿では、宿泊は宿に泊まるが、食事や入浴はその宿泊先の周辺にある飲食店やカフェ、銭湯や温泉を利用する。つまり、ADとは、建物単体ではなく、地域一帯をひとつの宿と捉えることであり、街全体をホテルとみなして”宿”という機能を分解、それらを街なかに設けることで、観光客と地域の交流を促していくことを意味する。

通常、ホテルにはレストランやバー、お土産屋などがあり、様々な催しが開催されるなど、建物内であらゆるサービスが完結してしまうが、ADでは、街や地域全体がホテルそのものという発想であることが

ら、街なかの複数個所でサービスやおもてなしが行われる。

2. 発祥はイタリア

ADは、1980年代初頭、北イタリアにある廃村寸前の小さな美しい村々を復興するプロジェクトの一環として、観光マーケティングを専門とする経済学者ジャンカルロ・ダツラーラ教授により考案されたものである。これは、観光客がなかなか訪れない歴史ある小規模な村や町に、観光客を呼び込んで人口減を防ぐことを目的に、空き家を有効利用しようというものである。この新たな考え方は、90年代になるとイタリア各地に広がっていった。

3. ADの特徴

(1) ADは”SDGs”

ADの取組みでは、宿も街並みも、全て元々そこにあったものを再利用するというのが原則であり、その本質は、“持続可能である”ということにある。地域の過疎化を食



い止める鍵は、持続可能な経済を生み出すことであり、持続可能な世界を築くことを目指すADは、まさしくSDGsそのものである。

(2) 地域をアピールすることができる

ADでは、従来型の旅行で観光客が宿と観光地を行き来する「線」の動きを、地域全体を宿泊施設にすることにより、集落を散策する必然性を生じさせて「面」にする。つまり、地域の店や風景、住民と触れ合う機会が増えるために、地域の魅力や文化を観光客に伝えやすくすることができる。地域との交流が図れることから、観光客に当地の魅力に気が付いてもらいやすくなるのである。

古い空き家を格安で買い取って、観光客が快適に過ごせる空間と設備を提供する。それにより、豪華なホテルとは異なり、我が家のような宿で過ごすことができ、まちの住民と触れ合う。このような経験をした観光客が地域のファンとなっており、ピーターとなり、他の人にもその地域への訪問を推薦するという、好循環が生まれる。

4. ADの要件

ADの要件は以下のとおり。

経営形態	ひとつの事業者が、一括して経営・管理をすること。
おもてなしのクオリティ	プロフェッショナルで心がこもったサービスを提供すること。
建物と地域の規定	既存の建物を再利用する。また、それは以前から人が暮らしてきた村や町にあること。
施設	食事をする場所、レセプション、共有スペース、バーコーナー等があること。
建物間の距離	建物間は、ゲストの移動が負担にならない距離にあること。レセプションと客室は200m以内を目安とする。
地域	活気あるコミュニティづくりに寄与する存在であること。地域が無人であってはならない。
環境	ありのままの環境があること。地域の文化と融合させること。
認識性	はっきりとしたアイデンティティと、サービスの質が常に安定していること。
地域性	地域や地域の文化と一体化した経営であること。
連帯感	ADとしての誇りと、他のADとの連携意識を持って活動すること。

出典: アルベルゴ・ディフーズ ガイド 改訂版

5. ADのコンセプト

ADには、3つのコンセプトがある。

(1) アルベルゴ・ディフーズ

(AD:分散型ホテル)

地域まるごとホテル。レセプション機能を持つ中核的な拠点を中心として、宿泊施設やレストラン等を水平的にネットワーク化した取組み。

(2) オスピタリティ・ディフーズ

(OD:分散されるおもてなし)

基本はADと同じだが、ADは、レセプション機能を有する中核施設から半径200m以内に関連施設が集約されるのに対し、ODでは取り組む範囲がより広範(レセプション施設からおおむね1km)となる地域が一体となり行う取組み。

(3) アルベルゴ・ディフーズタウン

(ADT:自治体への認証)

地域の持続的な発展を目指す地域について、一般社団法人アルベルゴ・ディフーズインターナショナル極東支部が、ADやODを計画・推進

している自治体を認証するもの。

6. ADに取り組む地域

わが国では2018年3月に、岡山県矢掛町の宿泊施設「矢掛屋 INN&SUITES」がアジア&国内初のADに、矢掛町が世界初のADTに認証されて以降、2022年12月に、以下の各地が3年後の本認証を目指すスタートアップ認証となっている。

(1) 山梨県身延町

「株式会社鶴林精舎」

日蓮宗総本山の久遠寺(身延山)があるが、来客の減少から、新たな切り口での集客を模索するなか、ADに着手している。

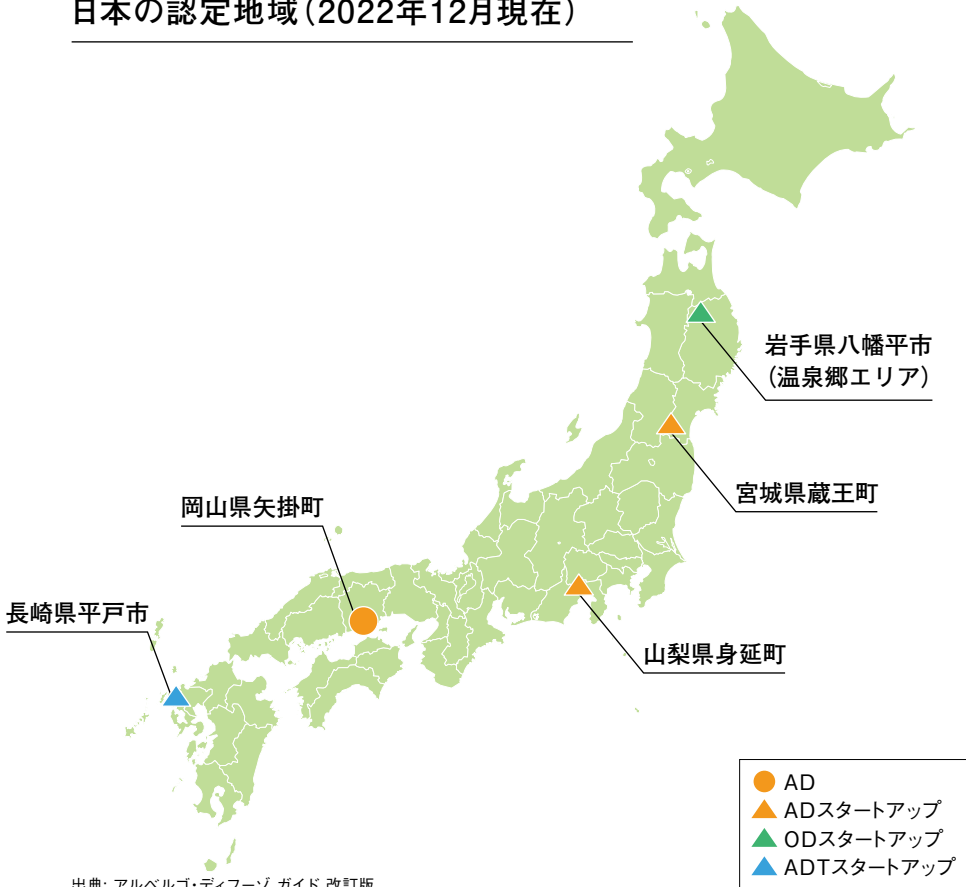
(2) 宮城県蔵王町

「蔵王農泊振興協議会」

農村を守りながら、障害者も含めて誰でも安心できる街づくりを進めている。空き家を活用した宿泊施設の整備、ADによる関係人口や雇用創出に取り組む。



日本の認定地域(2022年12月現在)



出典: アルベルゴ・ディフーズ ガイド 改訂版

(3) 岩手県八幡平市

「株式会社八幡平DMO」

スキーリゾートとして発展してきたが、スキー人口の減少、高齢化も進むなか、次の50年に向けた観光

政策を推進中。空き別荘や空きペン

ションを一棟貸し宿泊施設として

再生するなど、世界初のOD認証

となった。また、「八幡平エリア」は今

年3月、観光庁「地方における高付

加価値なインバウンド観光地づく

りモデル観光地」の11モデル地域の

1つにも採択されている。

(4) 長崎県平戸市

平戸城の天守閣改修や電柱地中

化など景観整備を行ってきたが、人

口減少に伴う新しい街づくりのス

タートとしてADTの認証取得に

着手する。新しい非日常を旅行者

に提供することで観光による地域

活性化を推進する。

II ADに取り組む平戸市

長崎県の自治体で初めてADに

取り組む平戸市は、2018年に平

戸城を地域創生のシンボルの存在

と位置づけて、本丸、石垣、見奏櫓な

どの大規模改修に取り掛かり、

懐柔櫓を宿泊施設化して、2021

年4月、日本初となる常設の城泊

事業「平戸城懐柔櫓CASTLESTAY」

を開業した。結果的に、このことが

平戸市がADに取り組むきっかけ

となった。

1. ADに取り組み始めた経緯

平戸市は2019年、城泊の開

業にあたり「平戸城懐柔櫓宿泊施

設化改修・運営事業」の事業者を公

募した。そして、Kessha株式会社

と株式会社アトリエ・天工人、日本

航空株式会社(以下、JAL)の3

社による「平戸城「城泊」JV」を選

定した。

翌2020年、平戸市は、農林

水産省から農泊推進事業に活用可

能な農山漁村振興交付金に採択さ

れたことを機に、「平戸市滞在観光

推進協議会」を設立し、城泊の次の

展開やインバウンドの受け入れなど

についての勉強会を行ったが、これに

はJALなどとともに、国内におけ

る農山漁村地域の活性化を目指す

団体「一般社団法人日本ファームス

ティ協会(以下、JPCSA)」も参

加していた。

このJPCSAと岡山県にある

一般社団法人アルベルゴ・ディフー



重伝建、的山大島・神浦地区のまちなみ



崎方町のまちなみ(写真提供:平戸市)

ゾ・ジャパンの理事をKessha株式会社の代表が兼務していたこと、さらに、JPCSSAの特別顧問が

ジャンカルロ・ダツラーラ教授だったことから、ADの極東支部が日本にできるかもしれない(2022年7月に一般社団法人アルベルゴ・ディフーズインターナショナル極東支部が設立)など、ADに関する情報提供があり、平戸でADの研修を行ってみるのも一考なのでは、などの話も出ていた。

そうしたなか、イタリアAD協会のダツラーラ会長が2022年に来日、国内のAD候補地を巡回して、5月に平戸市を訪問した。そこで、同協会から「日本でADを広げるために、平戸市が旗頭となってやってもらえないか」という打診があった。これを受けて、平戸市も一般社団法人平戸観光協会が2021年3月にDMO登録されて観光庁が目指す観光地域作りに取り組んでいるなか、ADの目的が同じまちづくりに通じるものである

ことから、2022年12月にADTのスタートアップ認証を受けることとなった。

2. ADT指定地域の選定

次に、市内のどの地域をADTとして推進していくのか、ということがポイントになる。外部からみると、平戸市でADTとして想定される場所は、古い城下町の面影を残す平戸の町並みのなかでも、明治、昭和初期の町並みが残り、オランダ商館に接している「崎方町」や、岡山県矢掛町と同じ重伝建に指定されている離島の的山大島「神浦地区」などを思い浮かべるが、その点について平戸市に尋ねてみると、23年7月現在、どのエリアをADTとして取り組んでいくのかはまだ決まっていないとのことであった。

ただ、崎方町は旧城下町地区として、市と地区内有志が2005～19年度にかけて、現存する古い町屋を参考にするなどして、家屋を改装する国土交通省の「街並み環境

整備事業」により、約170数戸が整備済みなど、家屋の外観に統一感を持たせており、市も県道のカラー舗装や電線の地中化などに取り組んできている地区である。近年、目立ち始めた空き家や、電線地中化の景観など、せっかく整備したものを生かすためにも、ADTの推進は有効なように思われる。

3. ADTの推進について

平戸市は当初、2023年度はADTのスタートアップ予算を確保して、一般社団法人アルベルゴ・ディフーズインターナショナル極東支部と伴走する事業者を企画プロジェクトで募集、事業者を選定して、マーケティング調査を行う予定であった。しかしながら、これを一旦保留にして、まずは、2021年に実施した市内全域空き家調査結果をベースに、観光庁の交付金を生かして、空き家と古民家の調査を地域を限定せず詳細に行い、24年度にその改修などに取り掛かるとして



いる。

この調査結果を基に、平戸市全体の空き家・古民家の分布図を作製、そこからまだ使用可能な物件を選定して、活用方法を検討した後、事業者にはその活用計画書をもとに空き家・古民家を改修してもらう。その後、ADTの指定地域を考えていく。

4. 宿泊施設の有無

平戸市と岡山県矢掛町の大きな違いに、もともと宿泊施設があった地域なのか否か、ということがある。

矢掛町の宿泊施設「矢掛屋 INNSUITES」は、町が建物を整備して、町外の経営者が運営している形をとっている。ところが、平戸市には既にさまざまなタイプの宿泊施設があることから、「宿泊」に関するノウハウと経験は豊富である。そこで、市としては、ADTの推進は民間でしっかり行ってもらい、市はその支援を行うことがベストであると考えている。

ADTのような新たな取組みを

推進するとすると、既存の宿泊施設経営者のなかから「自分たちの仕事を圧迫することになるのではないのか」という懸念の声が出てくることも予想される。この点について平戸市では、ホテルや旅館組合などに対し「顧客の取り合いになるという考え方ではなく、新しいもの（ADT）で平戸に付加価値をつけて、もっと魅力を引き上げることにより地域の価値を高める。そうすることが新たな集客に結びついていく。このADTという新たな枠で、各宿泊施設がどんどん勝負してもらって構わない」など、ADTの理念を含めて丁寧な説明を行っている。

5. 他地域との差別化を図る

平戸市は、ADTの認定を長崎県観光の雄「ハウステンボス」をはじめ、「波佐見町」や「東彼杵町」など、近年人気上昇しているところのなかから、平戸を選んでもらうきっかけになると考えている。その認定

地が国内でまだ少なく、長崎県・九州では唯一のADT認定地『アルブルグ・ディフゾタウン平戸』は、観光客の平戸市への訪問意欲を高める効果が期待できる。

III ADの推進

1. 新たな観光の形“AD”

ADを成功させるためには、運営する人の情熱やスキルに加え、該当地域におもてなしのスキルを身につけた、地元を心から愛する人々がいることが重要となる。また、ADを推進するからといって、単にまちなかに宿を分散して設置していくのではなく、箱物の充実だけでは新たな経済を生み出すことができない。ADにおける宿泊施設は、一般のホテルとは異なり、観光客に対しての特徴を明確に示すことも効果的である。古民家など宿泊施設となる建物の特徴やその地域特性など、これらが独創的なものであればあるほど、観光客が訪れるようになる。

ADでは、宿泊施設が分散型の経営スタイルとなることをはじめ、古い建物の改修やそれら複数物件の管理など、多額の資金を必要とする場合もあり、その結果、その初期投資とランニングコストから、



平戸城より崎方町方面を望む(写真提供:平戸市)



従来の宿泊施設比コスト高となることも考えられる。しかしながら、A Dの推進は、都市型観光とは異なる地方の観光、さらにはSDGsにつながる持続可能な観光などへの注目を集めることとなり、旅行代理店や観光団体、自治体などからの関心の高まりが期待できる。

2. キーポイントは地元の住民

わが国におけるA Dの推進では、運営事業者などと地域住民との間にまだ認識の違いがあるように思われる。A Dに認定されて5年目となる岡山県矢掛町の人々に対して「A Dの町・やかげ“の地元への浸透具合について尋ねてみると「観光関係者や自治体関係者などと住民との間には、A Dの理解についてかなり温度差がある。極端に言えば99%の住民が未だにA Dって何？という感じをもっているのでは」と語っている。国内A D先進地域の住民でも、A Dについてあまり意識することは無いようであった。

A Dそのものは、自治体や宿泊施設により推進されるが、前述した通り「地域におもてなしのスキルを身につけた、地元を心から愛する人々がいることが重要」がA D成功のポイントとなる。A Dの宿泊施設は分散型のため、観光客はチェックインのレセプションがあるメイン施設から、宿泊施設への移動、夕食時には商店街などへ飲食店への移動が発生。その後も入浴施設への移動や、翌朝は指定された朝食用サロンがある施設への移動など、チェックアウトまでに3、4回は周辺を歩きまわることとなり、住民と触れあう機会が生じる。これが従来の縦型ホテルでは、観光客は翌日のチェックアウトまでその“箱“の中から出ないため、観光客と住民とが触れ合う機会にはば見込めない。このことから、A Dの成功には、関係者に加えて、訪問客を歓迎する地域住民のおもてなしの気持ちは鍵を握る。

3. A D認定の効果

2018年の岡山県矢掛町への認定をはじめ、昨年12月の国内4地域へのスタートアップ認証から、このA DⅡ『アルベルゴ・デイフーズ』という不思議なイタリア語の響きが、徐々に日本国内にも認知され始めたようである。この珍しいイタリア語のフレーズを初めて目や耳にする人は、まずこの言葉は何を意味するのか？と思うこと間違いなく、その認定を受けた地域とはどのようなところだろうとなり、旅行を喚起する効果は十分期待できるだろう。

おわりに

りを重視している。

A Dへ取り組み始めた地域は、外部の人が移住してきて観光客目当てのお洒落な店を出店する、あるいは地元の住民も新規出店や、観光客向けに既存店舗を改装するなど、地域全体が活性化していく。

その一方、国内初のA Dのまち、岡山県矢掛町はA D認定にそれほどこだわっていないようにも見受けられた。というのも、矢掛町は行政による空き家・古民家の改修、まちの景観の維持と分散型宿泊施設の整備、さらに、住民によるさまざまなまちづくりの取組みなどと、既に自分たちで「A D“そのものに取り組んできた町であり、極論を言えばA Dに認定されていなくても、現在行われている取組みは今後も継続されるからである。

A DⅡ『アルベルゴ・デイフーズ』という新たな観光のスタートに立った、平戸市を含めた4地域の今後の動きに注目していきたい。

お城巡りで
日本2周しました！

FFGグループ内の行員の知られざる顔や、趣味・特技を紹介する新コーナー



福岡銀行 添田支店
なかの みのる
中野 実 支店長

Profile 福岡県北九州市出身、48歳。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から現職。



「サムライが現れた!」と大興奮の外国人観光客から写真をせがまれる中野支店長

福岡銀行 添田支店
中野支店長

Special Thanks

甲冑協力:添田町商工観光振興課
着付協力:筑前黒田二十四騎保存会
撮影場所:小倉城



そえだなび



筑前黒田二十四騎保存会
Instagram



小倉城HP



1.盛岡でわんこそばに挑戦。食べた杯数を記録した証明書を手記に記念撮影 2.白川小峰城(福島)白と黒の調和がとれた三重櫓、連結式で堂々とした佇まい 3.小諸城(長野)城郭が城下町より低い穴城。苔生した石垣が歴史を感じさせる 4.松本城(長野)国宝5天守の一つ・日本最古の現存天守。水堀に映るシルエットが美しい

一冊の本と運命の出会い

忘れもしない2019年11月。ふらりと立ち寄った広島城で、一冊の本「日本100名城」と運命的な出会いをしました。公益財団法人日本城郭協会が選定した全国各地の100名城(城跡含む)のガイドとスタンプ帳がセットになった本で、その場で購入しスタンプラリーを開始しました。登城する度にスタンプを押し、2022年4月末には日本100名城の登城を完了しました。続編として発売された「続日本100名城」も購入し、こちらも2023年5月に登城完了。結果、3年7カ月かけて2000城(城跡含む)踏破し、日本2周ぐるりした格好となります。

好奇心あふれる旅

旅のスタンスは土日や連休、長期休暇を使い、自家用車、もしくは飛行機+レンタカーで一筆書き



氷見(富山)漁港の食堂で早朝食べたぶりしゃぶ

人生100年時代を迎え、そろそろ折り返しとなる今年年男の48歳。体力的にネットカフェでの仮眠は辛くなるお年頃……。今後は好きなお城の城下町を散策、逗留したり、季節イベントにあ

今後の歩き方

旅は段取り8割。事前に行程表を作成するのも楽しみの一つです。実際に旅をし違ったところを赤字で記入します。PLAN ↓ DO ↓ CHECK ↓ SEE を怠らない。これは仕事にも共通することです。

にくるりと回ります。宿には泊まらず、温泉やスーパー銭湯、ネットカフェで仮眠し朝一番から登城。夕方には天守閣や資料館等が閉館するため、ご当地料理や温泉をゆっくり堪能します。お城だけでなく日光東照宮や中尊寺金色堂といった観光地、金沢海鮮井や米沢牛、近江牛、わんこそばなど、ここでしか味わえない料理も味わいます。時間が合えば携帯戦闘ゲームのメンバーとオフ会をすることも。



手書きの行程表

わけて再訪したいです。もちろん、新たに「続々日本100名城」が発売されれば、日本3周目にチャレンジしたいと思っています。コロナが収束しつつある現在、歴史ロマンに触れながら知らないことに出逢える旅を通じて、一度きりの人生をより豊かなものにしていきたいと思っています。

勝手にランキング! 辛かったお城

1. 金田城(長崎)

歩けど歩けど登山口に辿り着かず、人生初めてのヒッチハイク



2. 有子山城(兵庫)

麓にある出石城が立派なのに、標高321mの詰城は急勾配

3. 根室半島チャシ跡群(北海道)

函館から高速で片道10時間超、車内で熱唱



日本100名城・続日本100名城の本とスタンプ帳、登城記念盾



福岡銀行 添田支店

住所/福岡県田川郡添田町 大字添田1179-1



添田支店のメンバーとパジャリ (左:金子課長代理、右:井上行員)



お客さまと談笑する中野支店長



秋季恒例企画

曝涼展～掛軸の世界

2023年11月4日(土)～12月2日(土)

同時
開催

【陶磁器小企画】 古伊万里展

2023年11月4日(土)
～2024年3月2日(土)

十八親和アートギャラリーでは、11月4日から季節展示室と絵画展示室1、ホワイエに於いて秋季恒例企画「曝涼展～掛軸の世界」と、陶磁器展示室2に於いて陶磁器小企画「古伊万里展」を開催いたします。

秋の恒例企画「曝涼展」では、所蔵品の虫干しを兼ねて掛軸の一般公開を行っています。江戸時代の南画家・椿椿山、長崎県出身の日本画家・小林観爾などの山水画や花鳥画のほか、木庵性瑠、即非如一、良寛和尚による一行書など約40幅を一部掛け替えしながらご紹介いたします。

また、陶磁器小企画「古伊万里展」では、江戸時代に伊万里港からヨーロッパなどへ渡った有田焼である「古伊万里」の深鉢や小品の蓋物など初公開作品を中心に10点をご紹介します。初企画となる陶磁器小企画は、常設の陶磁器展示室2の中に、新たに展示ケース1台を設置して、これまでご紹介する機会の少なかった作品を定期的に公開するものです。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。
※企画展は、次回展の都合により変更する場合があります。



昨年の展示風景



「染錦献上古伊万里十二角深鉢」H7.3×φ33cm(高台:H1×φ17cm)

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分